CNS GUIDE 2011

冊子版

慶應義塾湘南藤沢インフォメーションテクノロジーセンター (ITC)

本書について

SFC は1990年4月の開設以来、20年になります。
SFC-CNS は教育研究を支えるコンピュータとネットワークを中心とするシステムで、すぐれた環境を学生のみなさんや教職員のかたがたに提供できるよう、進化し続けています。その一貫として、モバイル環境支援、教室でのさまざまなデジタルメディアの利用や、マルチメディア・コンテンツ作成・処理機能支援など、デジタルキャンパスの名にふさわしいネットワークシステム環境の強化に努めており、本書はその入口部分を述べたにすぎません。
SFC-CNSで利用できる機能には本書では述べきれない多くのものがありますので、ITCのWEBページを参照して、多くの機能を活用してください。

本書は、SFC開設時から学生のみなさんを中心とするCNSガイド編集委員によって学生の視点から、作成されてきました。SFC-CNSの発展と進化にあわせて、分量、形式ともに、そのときどきに合ったように、変化しています。本年度は、ここ数年の形式と同様に、ネットワークへの接続方法や、メールの設定、SFC独自のサービスなど、SFC-CNS固有の事項を中心に簡潔にまとめ、初めて使う人が、手軽に参照できるように編集しました。より詳しい情報はWebで参照できるようになっています。

SFC-CNSは、UNIX、Windows、その他多種多様の計算機が利用できる分散コンピューティング環境です。数多くの種類の計算機に触れ、利用することは、情報技術を身につけ理解する上で、重要なことですので、特に学生のみなさんには、この環境を有効活用してほしいと思います。また、利用にあたって最も注意しなければならないのは、次に示すような社会倫理をしっかり身につけてそれを守ることです。

- ソフトウェアの著作権等の知的所有権を尊重して、ソフトウェアの違法コピーは決してしない。また他人のファイルや情報などを尊重し、見えるようになっていても意図されていないものであれば、閲覧しないようにする。
- SFC-CNSは教育、研究のためのシステムであることを理解し、それ以外の目的には使用しない。
- 自分に許可されていないコンピュータに不法にアクセスしない。
- SFCおよびSFC以外の組織の掲示板等に落書き、中傷などの書き込みはしない。
- 電子メールは読む相手がいることを意識し、中傷メールなどは決して送らない。また、チェーンメールなども送らず、受け取っても中継しない。
- ホームページの内容は、世界中の誰もが読めることを認識し、内容を作成する。作成に関して画像、音声、動画などの違法な公開をして、他人の権利を侵害しない。
- その他、他人に迷惑のかかることはしない。

何か不安に思ったり、わからないことがある場合は、メディアセンターの各コンサルタントおよび湘南藤沢インフォメーションテクノロジーセンター（ITC）に相談してください。

SFC-CNSはオープンなシステムを目指しており、管理や利用制限はなるべく行わず、自由にシステムを利用し、SFC において教育・研究が行えるようにしています。そのため、SFC-CNS は利用する人々によって共有されていることを認識し、秩序ある利用を心がけてください。

本書の製作にあたっては、ITCに編集委員会を設け、内容の決定、執筆依頼、編集、内容のチェックなどを行いました。
編集委員は、主としてSFC-CNSの利用者である学生で組織しており、学生のみなさんが大きな役割を果たしています。また、現在までに発行された版への意見や、ITCに寄せられたSFC-CNSに対する質問なども参考にしています。

今年度版の製作にあたり、資料の整理や内容のチェックなどさまざまな手伝いをして頂いたCNSコンサルタントのみなさんに深く感謝します。また、今までのSFC CNSガイドに関わってきた多くのみなさんにも感謝します。

湘南藤沢インフォメーションテクノロジーセンター（ITC）　所長

楠本博之

SFC-CNSガイド編集委員

中島明日香　岩崎久美子　菊池幹生　薄井唯

山田加奈　満友佳乃　千葉智史　郷津加奈子

湘南藤沢インフォメーションテクノロジーセンター（ITC）

富山優一　浅見健次　山根健　重近範行

直江健介　寺岡丈博

CNS GUIDE 2011 もくじ

1 SFC-CNS をはじめる

2 CNS にようこそ

3 SFC に関する WEB サイト

4 困ったときは (Q & A)

5 付録

1 SFC-CNSをはじめる

SFC-CNSは「Shonan Fujisawa Campus-Campus Network System」の略称で、PCに関係するさまざまなサービスを提供しています。これ以降、SFC-CNSのことを「CNS」と呼びます。

この章では、CNSが提供している様々なサービスを受けるために必要なPCの設定方法を紹介します。

1

1 CNS アカウントについて

CNSのサービスを受けるためにはCNSアカウントが必要です。
このセクションでは、その概要について説明します。

01

SFCでは学生や教職員、卒業生など多くの人がPCを利用します。PC利用者のことを「ユーザ」といい、PCを利用する権利を「アカウント」といいます。

CNSを利用するためのアカウントは、【p.126　SFC-CNS利用内規】に基づいて総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科の学生全員に発行されます。

通信教育課程と外国語学校を除く慶應義塾大学の他キャンパスの学生は、サブアカウントの発行を申請できます。詳しくはITCのWEBサイトの『他地区学生向け情報』を参照してください。

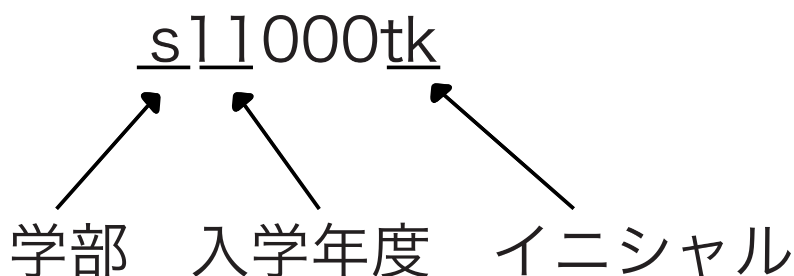
⇨ http://itc.sfc.keio.ac.jp/

02

PCの利用者を識別し、CNSサービスを安全に提供するため、上記の対象者全員が「CNSアカウント」を持ちます。CNSアカウントは「CNSログイン名」と「CNSログインパスワード」の組み合わせで成立します。

CNSログイン名は、各ユーザに対して固有に割り振られる名前です。学部生のCNSログイン名は「s11000tk」のように表します。はじめのアルファベットが学部、次の2桁の数字が入学年度、最後のアルファベット2文字が氏名のイニシャルを、それぞれ表しています。

下の例に示すCNSログイン名は架空の学生です。この場合、「総合政策学部に2011年度入学のTKというイニシャル（慶應 太郎）を持つ学生」を表わすCNSログイン名であると推測できます。



ログイン名@sfc.keio.ac.jpでCNSのメールアドレスになります。

03

CNSログインパスワードは、ユーザが本当にそのログイン名の持ち主であるかを確認するために用います。CNSログインパスワードは、次のルールの中でユーザが自由に設定できます。

- 6 文字以上の長さ（8 文字まで有効、それ以降の文字は無視される）
- 2 文字以上の英字、および 1 文字以上の数字もしくは特殊文字を含む
- ログイン名と異なるもの（反転したり、ずらしたものも不可）
- 現在のパスワードと 3 文字以上異なること
- 英字の大文字・小文字を変えただけのものは、同じ文字列として扱われる。

また、次のような他人に簡単に推測されやすいパスワードを設定することは避けてください。

- 自分や身近な人の名前、辞書に載っている単語
- 誕生日、住所、電話番号など
- 同じ文字を繰り返しているもの（「aaa」など）

CNSログインパスワードには90日の有効期限があります。期限が切れるとCNSアカウントが停止し、CNSアカウントを必要とするサービスが利用できなくなります。必ず期限前に変更してください。CNSログインパスワードの変更手順は、【p.10　CNSログインパスワードを変更する】を参照してください。

失効してしまった場合や忘れてしまった場合は、ITCの「CNS/ERNSサービス窓口」（【p.127　CNS関係連絡先】参照）でCNSログインパスワード再発行の申請をしてください。

04

CNSログインパスワードが他人に知られた場合、自分のファイルを消去・変更される恐れがあるだけでなく、CNSのシステム全体に対する脅威となります。CNSログインパスワードを盗まれたユーザの持つ権限のもとに、悪意のある者が不法行為を働く恐れもあります。

CNSログインパスワードを不正使用されることは本人の問題だけでなく、義塾全体への不信を招くことになりかねません。個人情報の漏洩を防ぐためにも、絶対にCNSログインパスワードを書き留めたり、人に教えたりしないでください。次のような場合も、例外ではありません。

- 教職員などにCNSログインパスワードを尋ねられた場合
- 他人に作業を依頼する場合

もし不審に感じるようなことがあれば、すぐにCNSログインパスワードを変更してください。CNSログインパスワード変更の手順は【p.10　CNSログインパスワードを変更する】を参照してください。

2 CNS ログインパスワードを変更する

CNSログインパスワードを変更する方法は2つあります。
このセクションではそれぞれの方法を解説します。

1 WEBブラウザからCNSログインパスワードを変更する方法（推奨）

01

WEBブラウザを起動し、『CNSログインパスワードの変更』に以下のURLからアクセスします。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/accounts/login/

表示できたら、❶「CNSログイン名」、「現在のパスワード」、「新しいパスワード」の欄に入力し、新しいパスワードを「新しいパスワードの確認」欄に再度入力します。

❷「パスワードの強さ」の欄に強度の目安が表示されます。複雑なパスワードであればあるほど強くなるので、「強(Strong)」と表示されるようなパスワードを入力してください。

すべての項目を入力したら❸「変更実行(Change)」をクリックします。

02

左の画面が表示されたら、CNSログインパスワードの変更は完了です。

2 ターミナルからCNSログインパスワードを変更する方法



01

ターミナルからCNSログインパスワードを簡単に変更することができます。

キャンパス内のMacで、「アプリケーション」フォルダ→「ユーティリティ」フォルダ→❶「ターミナル」を開きます。

```
% passwd
################################################################
#
# CNS ログインパスワードを変更するため
# ccx01.sfc.keio.ac.jp に接続します。
#
################################################################

Password:
```

02

ターミナル上で「passwd」を入力してください。

「Password :」と表示されたら、CNSログインパスワードを入力してください。

```
================================================================
CNS のログインパスワードを変更します。
現在のパスワード入力後に新しいパスワードを入力してください。
================================================================
Changing CNS Login Password for s11000tk. ❶
Please enter current Password:
Please enter NEW Password:          ❷
Please retype NEW Password:
The CNS Login Password has been changed.
                                      ❸
```

03

❶「Please enter current Password」と表示されるので、現在のCNSログインパスワードを入力します。

パスワード入力中はキーを押しても画面に何も表示されないので注意してください。入力が終わったらReturnキーを押します。

❷確認のため、新しいCNSログインパスワードを入力します。次に、確認のため再度同じパスワードを入力します。

❸のメッセージが表示されたら、CNSログインパスワードの変更は完了です。
ターミナルを終了してください。

3 自分の PC をキャンパス内で CNS につなぐ

このセクションでは、無線LANを用いてキャンパス内から自分のPCをCNSに接続する際の設定方法について解説します。

1 自分のPCからCNSに接続する方法

01

SFCではキャンパス内のほぼ全域で無線LANを利用できます。

無線LAN（Wi-Fi）とは、電波を用いて無線でネットワーク接続を行うシステムのことです。CNSでは、無線LANの標準規格であるIEEE802.11a/b/g/nを利用できます。

02

無線LANでの接続には、「個人証明書」を用いてあなたがCNSアカウントの持ち主であることを示す必要があります。個人証明書をを使用することで、通信の暗号化・アクセスポイントの認証が可能になり、安全性の高い通信ができます。

このセクションでは、Windows 7とMac OS X 10.6を搭載したPCから、個人証明書を使ってインターネットに接続する方法を解説します。

ゲーム機など、個人証明書による認証に対応していない機器を登録したい場合、MACアドレスを登録してインターネットに接続します。MACアドレス認証を使用したインターネットへの接続方法は、通信が暗号化されないので、個人証明書を使う方法に比べて安全面で劣ります。PCでの使用は避けてください。

03

以下に機器別の認証方法一覧を示します。お使いの機器がどの認証方式に対応しているか、確認してください。

認証方式	対象機器	接続までの流れ
個人証明書による認証（802.1x認証）	Windows XP,Vista,7 Mac OS X など	1. 証明書発行ページで個人証明書発行 2. 個人証明書をインストール 3. 接続設定
機器登録による認証（MACアドレス認証）	証明書による認証に対応してないPC、PDA、プリンタ、Webカメラ、ゲーム機など	1. 機器登録ページで機器登録 2. 接続設定

2-1 個人証明書を使って接続する（Windows）

01

『CNS無線LAN利用申請』に以下のURLからアクセスします。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/wlan/

アクセスするとCNSログイン名とCNSログインパスワードを求められます。❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、❷「登録を開始する」をクリックしてログインします。

02

ログインすると左のような画面が表示されます。

個人証明書の発行より❶「発行」を選択して「go」をクリックします。

03

❶「パスフレーズを入力してください。」の欄に、8文字以上の文字列を考えて入力します。

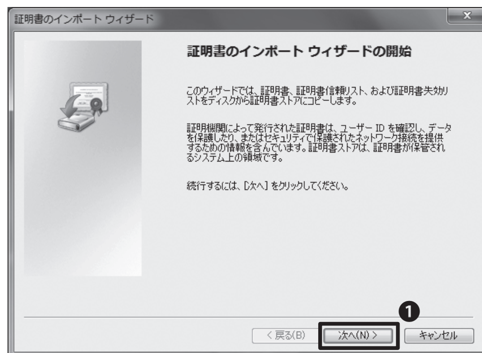
個人証明書をPCにインストールする際に、入力したパスフレーズの確認があります。その時に1度使用するだけなので、手元に控えておく必要はありません。

入力が完了したら❷「個人証明書発行」をクリックします。

04

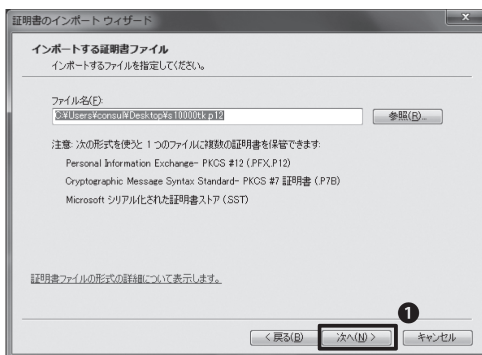
個人証明書のダウンロードが自動的に始まります。

自動的に始まらない場合は、❶「ダウンロード」をクリックして手動でダウンロードしてください。



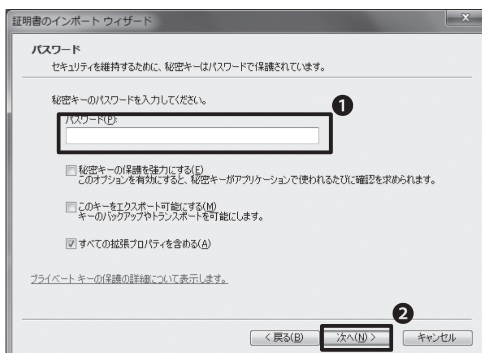
05

ダウンロードした個人証明書をダブルクリックすると証明書のインポートウィザードがはじまります。❶「次へ」をクリックします。



06

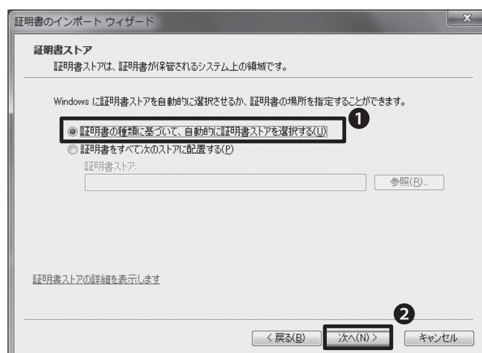
「インポートする証明書ファイル」画面では、そのまま❶「次へ」をクリックします。



07

「パスワード」画面では、❶「パスワード」の欄に、先ほど設定したパスフレーズを入力します。

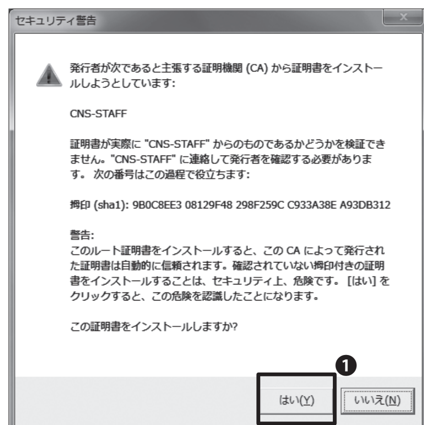
入力が完了したら❷「次へ」をクリックします。



08

「証明書ストア」画面では、❶「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、❷「次へ」をクリックします。

「証明書のインポート ウィザードの完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックします。



09

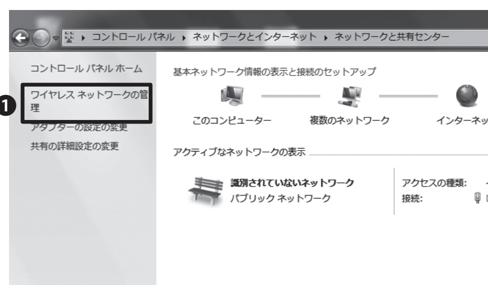
証明書のインポートウィザードが完了すると、左の画面のようなセキュリティ警告が表示されるので❶「はい」をクリックします。

続けて「正しくインポートされました」とメッセージが出るので、「はい」を選択します。



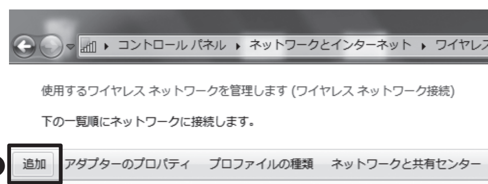
10

スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「ネットワークとインターネット」項目の❶「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



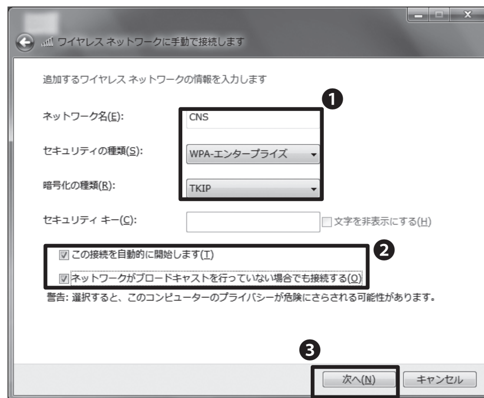
11

画面左のメニューから❶「ワイヤレスネットワークの管理」をクリックします。



12

『ワイヤレスネットワークの管理』メニューから❶「追加」をクリックします。



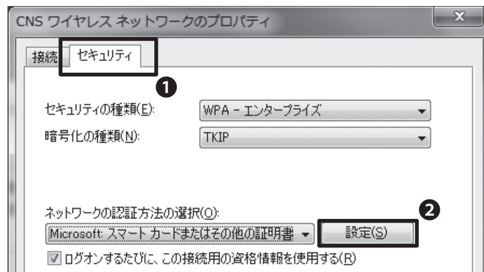
13

ワイヤレスネットワークの手動追加画面では次のように設定します。

❶「ネットワーク名」にCNSと入力し、セキュリティの種類を「WPA-エンタープライズ」、暗号化の種類を「TKIP」に設定し、❷2つのチェックボックスにはチェックを入れます。

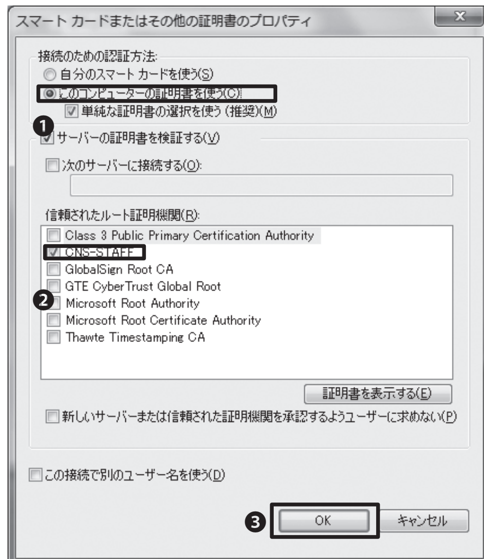
ここまで完了したら❸「次へ」をクリックします。

「正常に CNS を追加しました」と表示されたら、そのまま「接続の設定を変更します」をクリックします。



14

左のような画面が表示されるので、❶「セキュリティ」のタブをクリックし、「ネットワークの認証方法の選択」メニューにある❷「設定」をクリックします。



15

「スマートカードまたはその他の証明書のプロパティ」画面が開きます。

❶「このコンピュータの証明書を使う」を選択します。次に、「信頼されたルート証明機関」より❷「CNS-STAFF」を選択し、❸「OK」をクリックします。

2-2 個人証明書を使用して接続する（Mac OS X）

01

『CNS無線LAN利用申請』に以下のURLからアクセスします。
⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/wlan/

アクセスするとCNSログイン名とCNSログインパスワードを求められます。❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、❷「登録を開始する」をクリックしてログインします。

02

ログインすると左のような画面が表示されます。

個人証明書の発行より❶「発行」を選択して「go」をクリックします。

03

❶「パスフレーズを入力してください。」の欄に、8文字以上の文字列を考えて2回入力します。

個人証明書をPCにインストールする際に、入力したパスフレーズの確認があります。その時に1度使用するだけなので、手元に控えておく必要はありません。

入力が完了したら❷「個人証明書発行」をクリックします。

04

個人証明書のダウンロードが自動的に始まります。

自動的に始まらない場合は、❶「ダウンロード」ボタンをクリックして手動でダウンロードしてください。



05

ダウンロードした個人証明書をダブルクリックすると『キーチェーンアクセス』が起動し、❶パスワードの入力を求められるので、先ほど入力したパスフレーズを入力します。

個人証明書が追加されたら、『キーチェーンアクセス』を終了します。



06

『システム環境設定』の中から❶「ネットワーク」をクリックします。

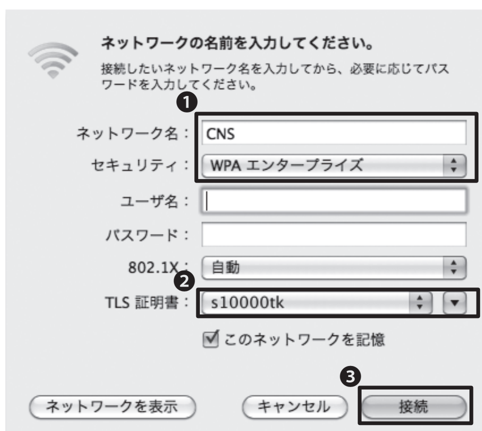


07

左側の欄から❶「AirMac」を選択します。

❶「AirMac」が「切」になっている場合は❷「AirMacを入にする」をクリックします。

「ネットワーク名」の❸「ほかのネットワークに接続...」をクリックします。



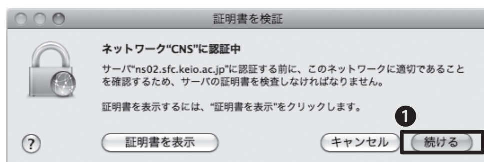
08

左のような画面が表示されます。

❶「ネットワーク名」に「CNS」と入力し、「セキュリティ」の欄は「WPA エンタープライズ」を選択します。

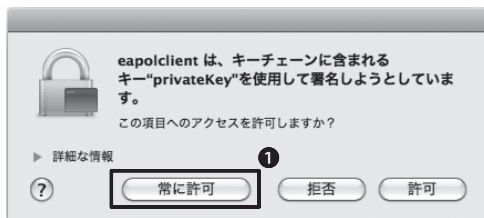
❷「TLS証明書」の欄は、自分のCNSログイン名を選択します。

入力を終えたら、❸「接続」をクリックします。



09

「証明書を検証」という画面が表示されたら、❶「続ける」をクリックします。



10

続けて左のような画面が表示されるので、❶「常に許可」を選択します。



11

自動的に元の画面に戻ります。左の画面で、下の2点が確認してください。

❶「IPアドレス」が左のような3桁以内の数字4つの組合せ（例：133.27.xxx.xxx）のようなで表示されている。
❷「“TLS”を使用して認証済み」と表示されている。
最後に❸「適用」をクリックしてください。

3 機器を登録して接続する（MACアドレス認証）

ゲーム機など、個人証明書による認証に対応していない機器をCNSへ接続したい場合、MACアドレスを登録してインターネットに接続します。MACアドレス認証を使用したインターネットへの接続方法は、通信が暗号化されないので、個人証明書を使う方法に比べて安全面で劣ります。PCでの使用は避けてください。

01

『CNS無線LAN利用申請』に以下のURLからアクセスします。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/wlan/

アクセスするとCNSログイン名とCNSログインパスワードを求められるので、❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、❷「登録を開始する」をクリックします。

02

ログインすると次のような画面が表示されます。機器の登録/削除より❶「機器の登録」をクリックして先に進んでください。

03

❶「機器の管理しやすい名前」には何でもよいので自分がわかりやすい名前を入力してください。

❷「MACアドレス」には機器ごとのMACアドレスを入力します。MACアドレスを確認する方法はOSや機器ごとに異なります。接続する機器にあわせた方法をご確認ください。

4 認証済みの機器を紛失した場合

個人証明書を紛失した場合は、直ちに以下の『証明書の再発行/無効化』ページから個人証明書の無効化および再発行を行ってください。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/wlan/?cmd=cert

登録してある機器を紛失した場合は、直ちに以下の『機器登録の削除』ページから機器の登録を削除してください。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/wlan/?cmd=macaddr

これらの機器を放置すると、CNSユーザになりすまして接続されてしまいます。悪質な行為を助長してしまうことになりますので、注意してください。

4 自分のスマートフォンをキャンパス内から CNS につなぐ

このセクションでは、スマートフォンを無線LANを用いてキャンパス内からCNSに接続する際の設定方法について解説します。

1 スマートフォンをCNSへつなぐ

01

SFCではPCと同様にスマートフォンでも無線LANを利用することもできます。
スマートフォンも個人証明書を利用して、キャンパス内からCNSに接続します。

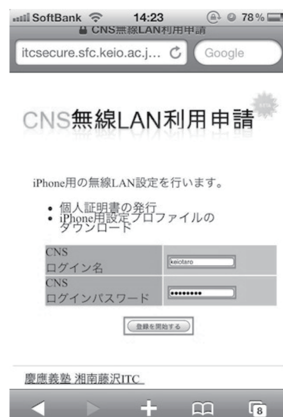
02

このセクションでは、Xpeira(Android 2.1)、iPhone/ iPad/ iPod touch (iPhone OS3.x、iOS4.x)における設定について解説しています。それ以外の機種やOS、バージョンの無線LAN接続設定については、『ITCのWEBサイト』の施設案内（KEIO Only）→無線LANサービス→802.1xを参照してください。

⇨ http://itc.sfc.keio.ac.jp

2 iPhone/ iPad/ iPod touch (iPhone OS 3.x、iOS 4.x)での設定方法

WEBブラウザ(safari)で個人証明書発行ページにログインすることにより、設定を行えます。

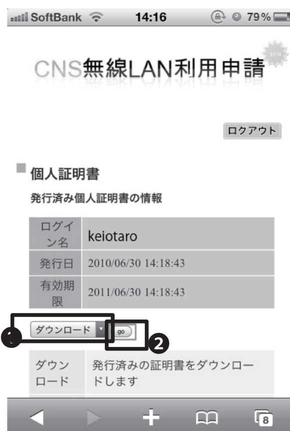


01

URLを直接入力するか、QRコードを使い個人証明書発行ページにアクセスし、ログインしてください。

URL　https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/wlan/
QRコード





02

ログインすると左のような画面が表示されます。❶「ダウンロード」を選択し、❷「go」をタッチします。



03

希望するプロファイルを設定します。

無線LAN接続のみを設定する場合は、プロファイル(A)の右側の❶「Download」をタッチしてください。



04

プロファイルが表示されます。

❶「インストール」をタッチします。



05

左のような画面が表示されるので、❶「インストール」をタッチします。



06

❶に、個人証明書を発行する際に使用したパスフレーズを入力してください。



07

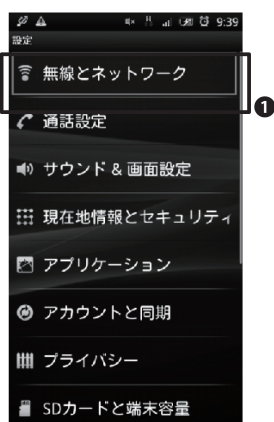
以上で設定は完了です。

3 Xperia (Andoroid 2.1)での設定方法



01

「設定」をタッチします。



02

左のような画面が表示されるので、❶「無線とネットワーク」をタッチします。



03

❶「Wi-Fiネットワークを追加」をタッチします。

04

次のページの情報で無線の設定を行い、最後に❶「保存」をタッチしてください。

05

以上で接続は完了です。

項目名	設定値
SSID	CNS
セキュリティ	802.1x Enterprise
EAP方式	TLS
フェーズ2認証	なし
CA証明書	インストール時に指定した名前
クライアント証明書	インストール時に指定した名前
ID	CNSログイン名
匿名ID	なし
ワイヤレス接続パスワード	なし





5 メールの設定をする

SFCで使用するメールアカウントを、
自分のPCで使用するための設定方法を解説します。

1 メールを利用するためのパスワードを設定する

CNSのメールを送受信するには、CNS IMAP/SMTP-AUTHパスワードが必要です。このパスワードはCNSログインパスワードとは別のものです。年度の始めに行われるガイダンスで既に「CNS IMAP/SMTP-AUTHパスワード」を作成しているのであれば、新たにパスワードを設定する必要はありません。その場合、この手順は飛ばしてください。

01

申請にはまず、『CNS IMAP/SMTP-AUTHパスワード申請』ページに以下のURLからアクセスします。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/mail_passwd/

左の画面が表示されたら❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、❷「登録を開始する」をクリックしてログインします。

02

ログインすると左のような画面が表示されます。

❶登録するCNS IMAP/SMTP-AUTHパスワードを2回入力します。CNSログインパスワードとは異なるものを設定してください。

❷「パスワードの強さ」は、そのパスワードが他人から推測されにくい度合いを表わします。「強」と表示されるようなパスワードを入力してください。(「中」でも登録可能ですが、推奨しません。)

入力を終えたら❸「パスワード登録」をクリックします。

2 キャンパス内のPCでメールを利用する

PCでメールを読むためにはメールソフト、もしくはメールクライアントと呼ばれるソフトウェアを利用します（このガイド内では「メールソフト」と呼びます）。

01

特別教室やメディアセンターのMacでログインした場合は『Thunderbird』というメールソフトを利用します。『Thunderbird』はDockのアイコンか、「アプリケーション」フォルダから起動します。

02

λ館とメディアセンターのWindowsにログインした場合は『Becky!』というメールソフトを利用します。『Becky!』はスタートメニューから起動します。

3 複数のPCでCNSメールを利用する

個人所有のノートPCや自宅のPCでも、それぞれのPCでメールソフトの設定を行うと、CNSメールが送受信できるようになります。使用するメールソフトは何でも構いませんが、IMAP形式に対応している必要があります。

IMAPはサーバにメールを保管する形式のため、どこで送受信をしても同様の記録が保たれます。不特定多数の人が使用するPCには、IMAPパスワードなどの個人情報を記録しないよう注意してください。個人情報が漏洩したり、重要なメールが消去されてしまう可能性があります。

個人所有PCの設定は次の４「メールの設定（IMAP/SMTP）」を参照してください。
また、代替手段として、『SFC-CNS Web Mail』を利用すると、特にソフトウェアをインストールしなくてもWEBブラウザからメールの送受信を行えます。

⇨ https://imap.sfc.keio.ac.jp/

4 メールの設定（IMAP/SMTP）

このセクションでは『Thunderbird』というソフトウェアを使い、メールを読むために必要な初期設定についてWindowsとMacに分けて解説します。

5－1 Thunderbirdのインストール（Windows）



01

『Mozilla Thunderbird』のWEBページに以下のURLからアクセスします。

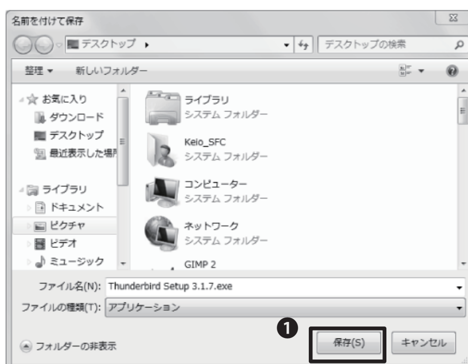
⇨ http://mozilla.jp/thunderbird/

左の画面が表示されたら、❶「無料ダウンロード」と書かれた部分をクリックします。



02

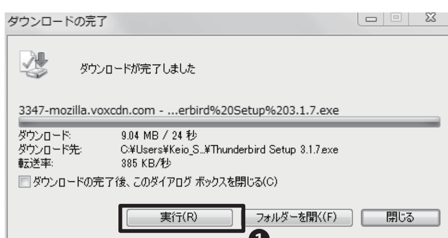
左のようなウィンドウが表示されるので、❶「保存」をクリックします。



03

プログラムを保存する場所を指定します。覚えられる場所なら、このままの設定で構いません。例ではデスクトップに保存しています。

場所を選んだら、もう一度❶「保存」をクリックします。

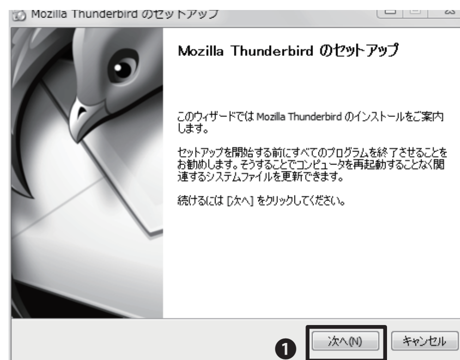


04

ダウンロードの完了後に表示される画面では、❶「実行」をクリックします。

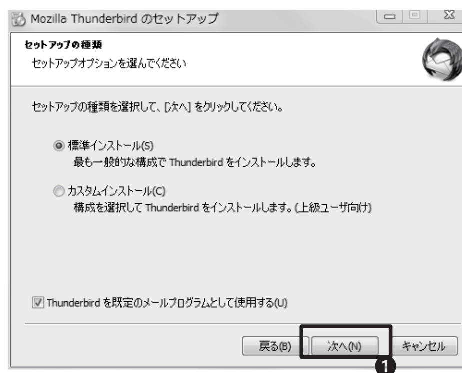
「ユーザーアカウント制御」というウィンドウが表示される場合がありますが、「はい」をクリックしてインストールを続行します。

左のウィンドウが閉じてしまった場合、先ほどダウンロードしたファイルを起動します。



05

「Mozilla Thunderbirdのセットアップ」が表示されるので、❶「次へを」クリックします。



06

「標準インストール」が選択されていることを確認して、❶「次へ」をクリックします。インストールが始まります。



07

左の画面が表示されたらインストールは完了です。ダウンロードしたファイルは削除して構いません。

❶「完了」をクリックすると『Thunderbird』が起動します。ダウンロードしたファイルは削除して構いません。

続けて、メールアカウントの設定をします。

5-2 Thunderbirdのインストール（Mac OS X）



01

『Thunderbird』のWEBページに以下のURLからアクセスします。

⇨ http://mozilla.jp/thunderbird/

左の画面が表示されたら、❶「無料ダウンロード」と書かれた部分をクリックします。



02

ダウンロードが完了すると、左のようなウィンドウが表示されます。表示されない場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。

ウィンドウの❶『Thunderbird』アイコンを、❷「アプリケーション」フォルダのショートカットの上にドラッグしてコピーします。

コピーが完了したら、インストールは完了です。



03

インストールが完了したら、❶「取り出し」アイコンをクリックします。ダウンロードしたファイルは削除して構いません。

「アプリケーション」フォルダ内に❷『Thunderbird』アイコンがあるので、これをダブルクリックして『Thunderbird』を起動します。

続けて、メールアカウントの設定をします。

6 Thunderbirdのアカウント設定

画面はMacのものですが、Windowsでも操作は同様で、設定は必ずインターネットに接続した状態で行ってください。設定がうまくいかない場合や他のメールソフトを使う場合は、次のセクションを参考に設定を行ってください。

01

初めて『Thunderbird』を起動する際に表示されるウィンドウに従って、設定をします。

❶「あなたの名前」に差出人として表記したい名前を、「メールアドレス」にCNSのメールアドレス、「パスワード」にCNS IMAP/SMTP-AUTHパスワードを入力します。

❷「パスワードを記憶する」チェックボックスにチェックを入れると、PCにパスワードが保存されます。不特定多数の人が利用するPCではチェックを入れないでください。

❸「続行」をクリックします。

02

図のような画面が表示されるので❶「編集」をクリックします。

03

❶「143」→「993」 ❷「STARTTLS」→「SSL/TLS」

❸「465」→「587」 ❹「SSL/TLS」→「STARTTLS」

上記のように設定し、❺「設定を再テスト」をクリックします。

04

しばらく待って左のような画面が表示されたら、❶「アカウント作成」をクリックします。



05

❶「OK」をクリックします。以上で設定は終了です。

7 メールアカウント設定情報

『Thunderbird』が自動で設定するアカウント情報に誤りがあった場合や、『Thunderbird』以外のメールソフトを使ってメールを送受信する場合は、こちらの設定情報を参考に設定してください。

メールアカウントの手動設定は、『Thunderbird』の場合、「ツール」→「アカウント設定」から行えます。

受信メールサーバの種類	IMAP
受信メールサーバ	imap.sfc.keio.ac.jp
ポート	993
接続の保護	SSL/TLS
保護された認証	はい

送信メールサーバ	smtp.sfc.keio.ac.jp
ポート	587
接続の保護	STARTTLS
保護された認証	いいえ

6 キャンパス内のプリンタで印刷する

このセクションでは、SFCのプリンタについての案内と、
自分のPCから印刷するための設定方法について説明します。

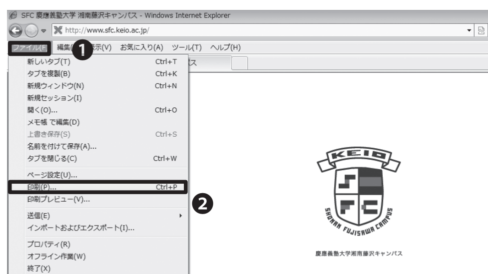
1 プリンタの設置場所一覧

SFCにはモノクロ印刷用とカラー印刷用の2種類のプリンタが設置されています。
それぞれの設置場所は下の表を参照してください。

設置場所	プリンタ機種
生協食堂 ノース 自販機コーナー	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
κ 18 特別教室	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
ε 17 特別教室	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
ι 18 特別教室	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
ο 17 特別教室	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
λ 11 特別教室	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ） RICOH IPSiO SP C810（カラー）
λ 18 特別教室	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
λ 21 特別教室	RICOH IPSiO SP C810（カラー）
κ 教室棟2階	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
ι 教室棟2階	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
メディアセンター オープンエリア	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ:2台） RICOH IPSiO SP C810（カラー:2台）
メディアセンター AVホール入り口(1階)	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
看護医療学部205教室	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ:2台） RICOH IPSiO SP C810（カラー）
看護メディアセンターDB検索用PC横	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
看護医療学部202教室前廊下	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ）
看護医療学部生協横	RICOH IPSiO SP8200（モノクロ） RICOH IPSiO SP C810（カラー）

プリンタが不調の時はCNSコンサルタント（内線52519、52555）またはITC（内線52512）に連絡してください。

② キャンパス内のPCから印刷する





01

キャンパス内のPCで印刷する場合印刷したいファイルを開き、上のメニューバーから❶「ファイル」を選択します。

Windowsではその中の❷「印刷」を、Macではその中の❸「プリント」をクリックします。





02

❶プリンタを選択します。モノクロ印刷の場合は「monoprn」、カラー印刷の場合は「colorprn」を指定します。

Windowsなら❷「印刷」、Macなら❸「プリント」をクリックすると、データがプリンタに送信されます。

これでPC側での操作は完了です。これ以降の操作はプリンタに備え付けてあるタッチパネルで行います。

3 自分のPCから印刷する

キャンパス内のプリンタは、Internet Printing Protocol（IPP）を利用して、自宅のPCやノートPCから直接SFCのプリンタに印刷データを送ることができます。

IPP印刷を利用するためには、オンライン申請と、PCの設定が必要です。ここではWindowsとMac、それぞれの設定方法を説明します。なお、Windows 7の場合、Starterエディションでは使用できません。

4-1 自分のPCの設定をする（Windows）

CNS IPP利用申請

■ このページについて

このページではIPPの利用申請とパスワード確認を行えます.

❶ • 利用を申請する
• 現在利用中のパスワードを確認する
• パスワードを再発行する

01

『CNS IPP利用申請』ページに以下のURLからアクセスし、❶「利用を申請する」をクリックします。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/ipp/

CNS IPP利用申請

■ CNSアカウントを入力してください ❶

ユーザ名		日本語入力をオフにしてください
パスワード		日本語入力をオフにしてください

利用を申請する ❷

02

❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、❷「利用を申請する」をクリックします。

CNSIPPパスワード確認

■ 現在のIPPパスワード

あなたのIPPパスワードは以下のとおりです.

ユーザ名	s10000tk
パスワード	XXXXXXXX ❶

CNS IPP利用申請

■ このページについて

このページではIPPの利用申請とパスワード確認を行えます.

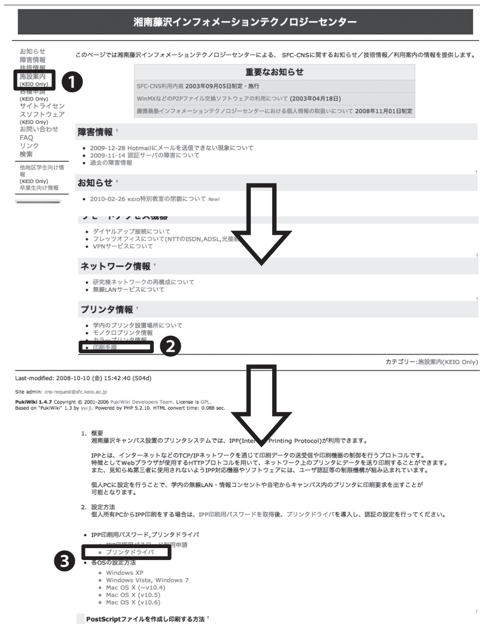
• 利用を申請する
❷ • 現在利用中のパスワードを確認する
• パスワードを再発行する

03

❶IPP印刷用のパスワードが表示されます。設定する際に必要なので、覚えておきます。

忘れてしまった場合、最初の画面で❷「現在利用中のパスワードを確認する」をクリックすると確認できます。

既にCNSのプリンタを使用するよう設定している場合、他のメニューから確認すると現在のパスワードが変更されてしまい、利用中のプリンタが利用できなくなってしまいます。注意してください。



04

『ITCのWEBページ』に以下のURLからアクセスします。

⇨ http://itc.sfc.keio.ac.jp/

❶「施設案内」をクリックします。

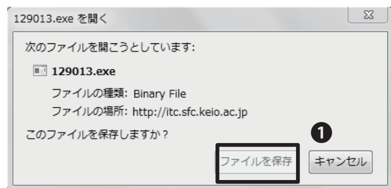
❷「印刷手順」をクリックします。

❸「プリンタドライバ」をクリックします。



05

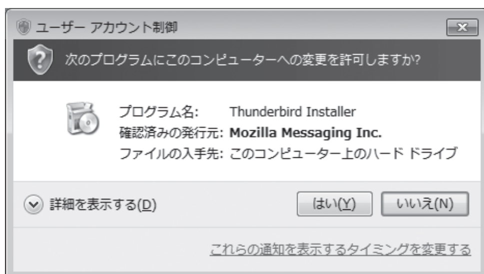
❶インストールしたいプリンタの種類（モノクロプリンタまたはカラープリンタ）と、自分のOSに対応するドライバを探します。



06

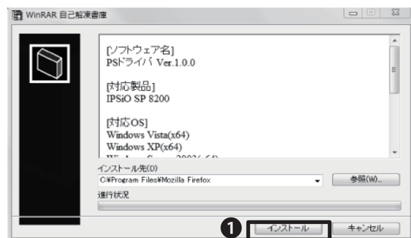
ダウンロードが完了したら❶「ファイルを保存」をクリックして、任意の場所にファイルを保存してください。

次に、ダウンロードしたファイルを開いてください。



07

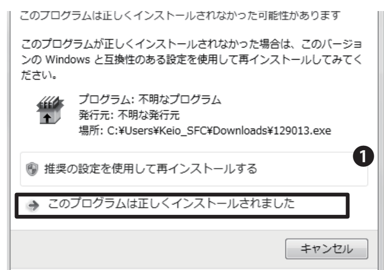
「ユーザ ーアカウント制御」が表示されるので、「はい」をクリックします。



08

任意のインストール先を指定して❶「インストール」をクリックします。

ここでは例として、デスクトップに「121746」というフォルダが作成されます。



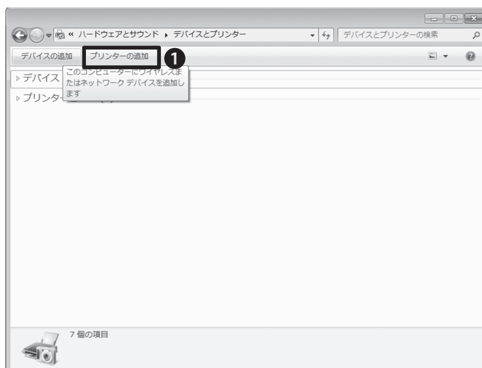
09

「プログラム互換性アシスタント」が表示された場合、❶「このプログラムは正しくインストールされました」をクリックします。



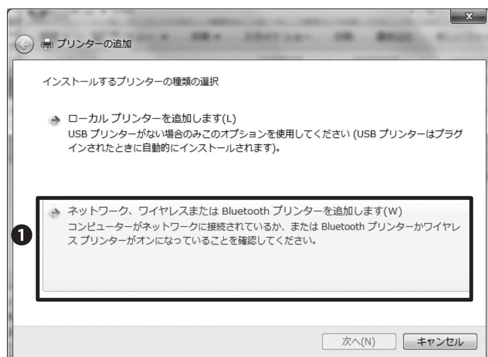
10

スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、❶「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。



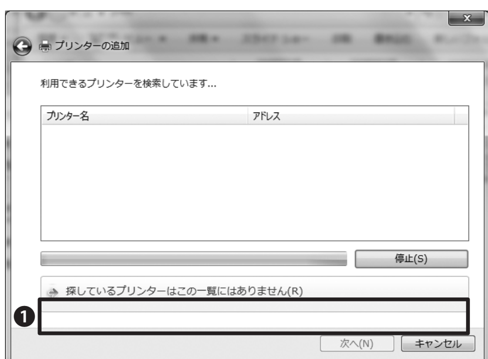
11

❶「プリンターの追加」をクリックします。



12

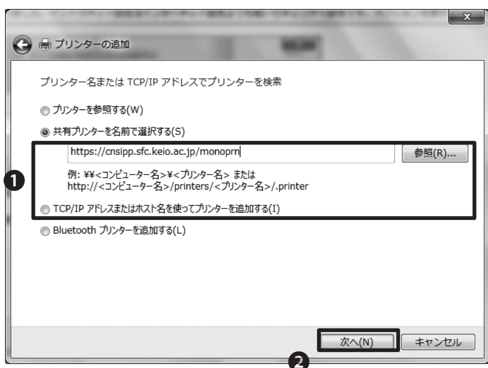
❶「ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します」をクリックします。



13

「利用できるプリンタを検索しています」というメッセージが表示されますが、この機能は利用しません。

❶「探しているプリンターはこの一覧にはありません」をクリックして先に進んでください。



14

❶「共有プリンターを名前で選択する」を選択します。入力欄には、プリンタの種類に応じて次のアドレスを入力します。

モノクロプリンタ

⇨ https://cnsipp.sfc.keio.ac.jp/monoprn

カラープリンタ

⇨ https://cnsipp.sfc.keio.ac.jp/colorprn

入力したら、❷「次へ」をクリックします。



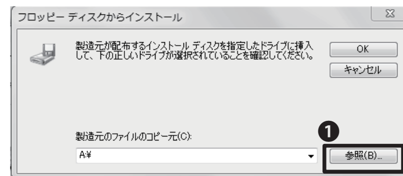
15

❶ユーザ名にCNSログイン名を、パスワードにIPP印刷用パスワードを入力して❷「OK」をクリックします。



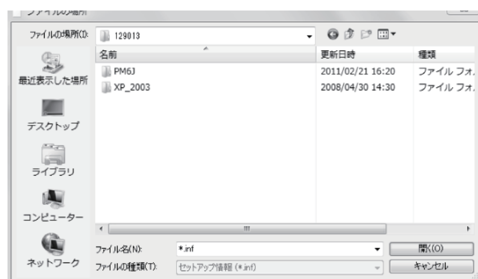
16

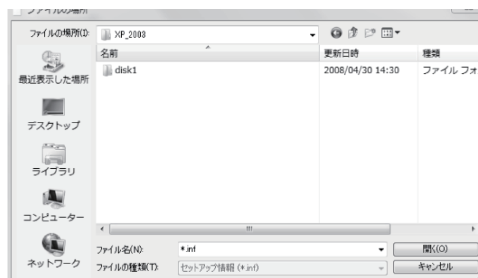
「プリンターの追加ウィザード」では❶「ディスク使用」をクリックします。

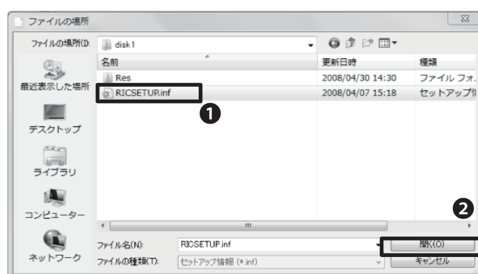


17

「フロッピーディスクからインストール」という画面が表示されるので❶「参照」をクリックします。







18

先ほどインストールしたフォルダの中に、いくつかのフォルダとファイルがあるので、次のように開いていきます。

（例）　121746
→XP_VISTA
→DISK1
→RICSETUP

上記のようにフォルダを開いていき、「❶RIC-SETUP」を選択したら❷「開く」をクリックします。

最初の「121746」というフォルダ名は、ダウンロードしたドライバの種類によって異なります。



19

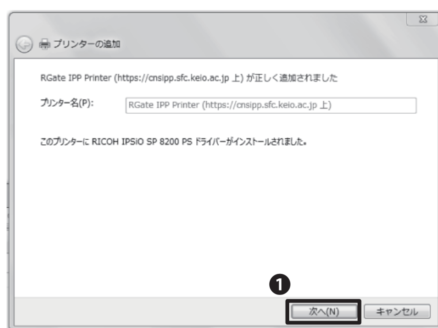
「フロッピーディスクからインストール」画面に戻るので❶「OK」をクリックします。



20

自動的に「プリンターの追加ウィザード」画面に戻ります。

「プリンター」の欄が、モノクロプリンタなら「RICOH IPSiO SP 8200 PS」、カラープリンタなら「RICOH IPSiO SP C810 PS」になっていることを確認し❶「OK」をクリックします。



21

❶「次へ」をクリックします。



22

❶「完了」をクリックします。

以上でWindowsでのインストール作業は完了です。

4-2 自分のPCの設定をする（Mac OS X）

CNS IPP利用申請

■ このページについて

このページではIPPの利用申請とパスワード確認を行えます.

❶ • 利用を申請する
• 現在利用中のパスワードを確認する
• パスワードを再発行する

01

『CNS IPP利用申請』ページを表示し、❶「利用を申請する」をクリックします。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/ipp/

CNS IPP利用申請

■ CNSアカウントを入力してください ❶

ユーザ名		日本語入力をオフにしてください
パスワード		日本語入力をオフにしてください

利用を申請する ❷

02

❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、
❷「利用を申請する」をクリックします。

CNSIPPパスワード確認

■ 現在のIPPパスワード

あなたのIPPパスワードは以下のとおりです.

ユーザ名	s10000tk
パスワード	xxxxxxxx ❶

CNS IPP利用申請

■ このページについて

このページではIPPの利用申請とパスワード確認を行えます.

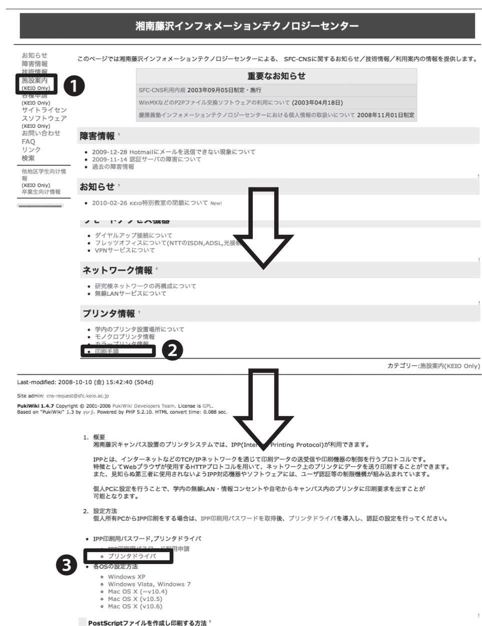
• 利用を申請する
❷ • 現在利用中のパスワードを確認する
• パスワードを再発行する

03

❶IPP印刷用のパスワードが表示されます。設定する際に必要なので、覚えておきます。

忘れてしまった場合、最初の画面で❷「現在利用中のパスワードを確認する」をクリックすると確認できます。

既に利用中のプリンタがある場合、他のメニューから確認すると現在のパスワードが変更されてしまい、利用中のプリンタが利用できなくなってしまいます。注意してください。



04

『ITCのWEBページ』に以下のURLからアクセスします。

⇨ http://itc.sfc.keio.ac.jp/

❶「施設案内」をクリックします。

❷「印刷手順」をクリックします。

❸「プリンタドライバ」をクリックします。

05

❶インストールしたいプリンタの種類(モノクロプリンタまたはカラープリンタ)と、自分のOSに対応するドライバを探します。

06

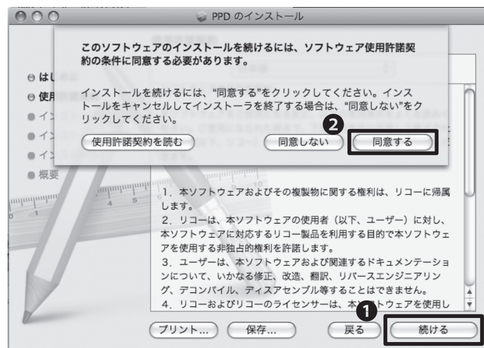
ダウンロードしたdmgファイルを開き、内包されているpkgファイルをダブルクリックします。WEBブラウザによっては自動的に開かれることもあります。



07

左の画面のようなメッセージが表示されるので、❶「続ける」をクリックします。

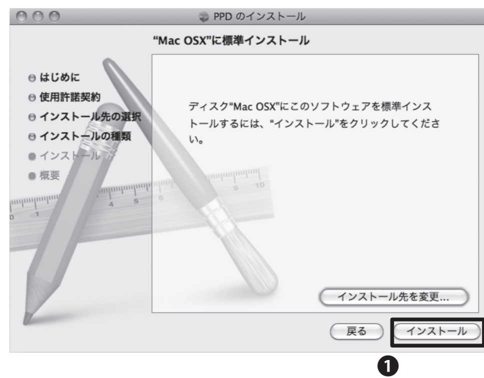
「ようこそ PPD インストーラへ」画面では、❷「続ける」をクリックします。



08

「使用許諾画面」ではよく読んだうえで❶「続ける」をクリックします。

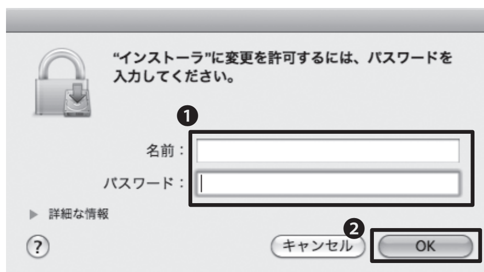
クリックすると図のようなメッセージが出るので、❷「同意する」をクリックします。



09

「標準インストール」画面では、❶「インストール」をクリックします。

インストールが始まるので、しばらく待ちます。



10

左の画面では、❶自分のPCにログインする際の「名前」と「パスワード」を入力します。

入力したら❷「OK」をクリックします。



11

左の画面が表示されたら、インストールは完了です。❶「閉じる」をクリックして、プリンタの設定に進みます。



12

インストールが完了したので、❶「取り出しアイコン」をクリックします。ダウンロードしたファイルは削除して構いません。

「アプリケーション」フォルダ→「ユーティリティ」フォルダの❷『ターミナル』を起動します。

```
cd /usr/libexec/cups/backend
```

13

ターミナルに左のコマンドを入力してReturnキーを押します。

「cd」の後にはスペースが入っています、これ以降もスペースや綴りに気をつけてください。

```
sudo ln -s ipp https
```

14

続けて、ターミナルに左のコマンドを入力してReturnキーを押します。

「sudo」の後に続く文字列は「小文字のL」です。注意してください。

```
Password:
```

15

「Password:」と表示されるので、そのPCに設定されているパスワードを入力してReturnキーを押します。パスワードは入力しても表示されません。

完了したら、ターミナルを終了して必ずPCを再起動します。



16

『システム環境設定』を開き、❶「プリントとファクス」をクリックします。



17

プリントとファックス画面が表示されたら、左下にある❶「+」をクリックします。



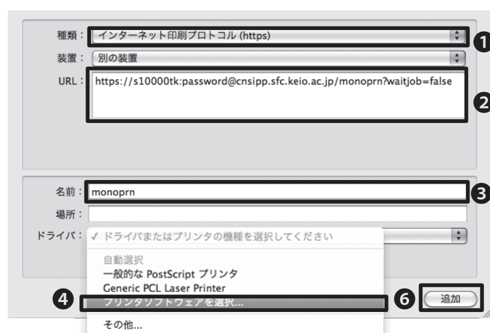


18

ツールバーから❶「詳細」をクリックします。

「詳細」がツールバーに無い場合、ツールバーの余白で右クリックし、❷「ツールバーをカスタマイズ」を選択します。

現れるダイアログにある、❸「詳細」メニューをツールバーにドラッグします。

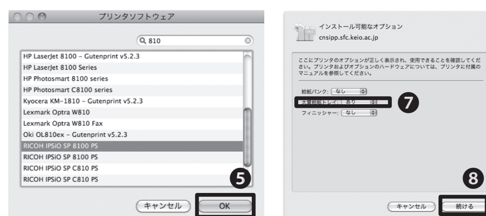


19

次の表の通りに各メニュー（❶〜❺）を設定します。

設定が完了したら❻「追加」をクリックし、❼オプションを指定して❽「続ける」をクリックします。

以上でMac OSでの設定は完了です。



メニュー	設定情報		
①種類	[インターネット印刷プロトコル(https)]		
②URL	モノクロプリンタ	<https://ログイン名:IPPパスワード@cnsipp.sfc.keio.ac.jp/monoprn?waitjob=false>	
	カラープリンタ	<https://ログイン名:IPPパスワード@cnsipp.sfc.keio.ac.jp/colorprn?waitjob=false>	
③名前	<monoprn>		
④ドライバ	モノクロプリンタ	<RICOH IPSiO SP 8200 PS>	⑤[OK]をクリックする
	カラープリンタ	<RICOH IPSiO SP C810 PS>	
⑥オプション	「大量給紙トレイ」のみ、[あり]		

5 タッチパネルの使い方（印刷・削除）



01

プリンタの脇に置いてあるタッチパネルの操作方法について解説します。

画面をタッチすると、ユーザIDを入力する画面になります。ユーザIDの欄にはCNSログイン名を小文字で入力し、❶「確定」ボタンをタッチします。



02

印刷するデータの一覧が表示されます。

印刷する場合❶印刷したいデータにタッチしてチェックを入れ❷「印刷」ボタンをタッチします。

確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。

03

印刷データを削除したいときは、❶削除したいデータにタッチしてチェックを入れ、❸「削除」をタッチします。

確認画面が表示されるので、「はい」をタッチします。

6 印刷料金について

CNSでは、ユーザごとに印刷枚数を記録しています。この記録に基づき、年度末に年間の印刷料金が請求されます。料金は以下の表を参照してください。

プリンタ	印刷料金
モノクロプリンタ	A4　1ページ5円
カラープリンタ	A4　1ページ15円
	A3　1ページ30円
	上記の合計で2500円を超えた分について課金する

両面印刷した場合は、片面印刷の2倍の料金が課金されます。またミスプリントや、カラープリンタでモノクロ原稿を印刷しても、プリンタの機種に応じた課金がされるので注意してください。

支払い対象者は、毎年1月にα館にログイン名が掲示されます。該当者はITC職員の指示に従ってα館で証紙を購入し、ITC窓口で支払ってください。期日までに支払わない場合、CNSアカウントが停止されることがあるので注意してください。

7 年間印刷枚数の確認

年間の印刷枚数の合計を確認するには、学校のPCにリモートログイン(【p.49　自分のPCからCNSに接続する】参照)し、printer-acctコマンドを実行します。

印刷枚数は印刷した直後ではなく、翌日の午前0時頃に再計算されます。

以下の例では、「❶589ページのモノクロ印刷、❷11ページのA4カラー印刷、❸2ページのA3カラー印刷」を表示しています。

```
% printer-acct (Returnキーを押す)
昨日までの CNS printer 利用合計 [s10000tk]
-----------------------------------------
白黒Printer  page数   monoprn  [Total]
                      589      [  589] ❶
Color - A4 page数   colorprn [Total]
                    11       [   11] ❷
Col-A4以外 page数   colorprn [Total]
                    2        [    2] ❸
```

この場合の請求金額の計算方法は、モノクロ印刷が5円×589ページ＝2945円、A4カラー印刷が15円×11ページ＝165円、A3カラー印刷が30円×2ページ＝60円です。

その総計である合計3170円から2500円を引いた、670円の利用料金を年度末に支払わなければならないことになります。

7 自分のPCからCNSに接続する

自分のPCからCNSに接続することで、遠隔地からアカウントの設定を変更したり、様々な操作ができます。

1 リモートログイン

自分のPCからCNSに接続するとき、『リモートログイン』という方法を使います。リモートログインすることで、個人所有のPCからもCNSのUNIX環境を利用できます。

ここではMac OS Xの標準機能によるログイン方法と、WindowsでPuTTYを利用してログインする方法を紹介します。リモートログインするときに接続先を指定します。接続先は以下のものが指定できます。

- ccz00.sfc.keio.ac.jp
- ccz03.sfc.keio.ac.jp
- ccx01.sfc.keio.ac.jp
- webedit.sfc.keio.ac.jp

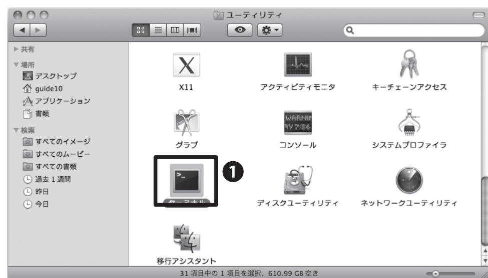
2-1 Mac OS Xからリモートログインする



❶

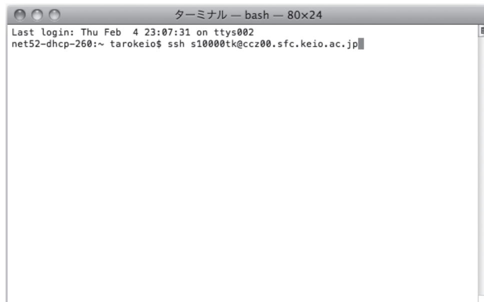
01

Dockにある❶『Finder』のアイコンをクリックします。



02

「アプリケーション」フォルダ→「ユーティリティ」フォルダから、❶『ターミナル』を開きます。

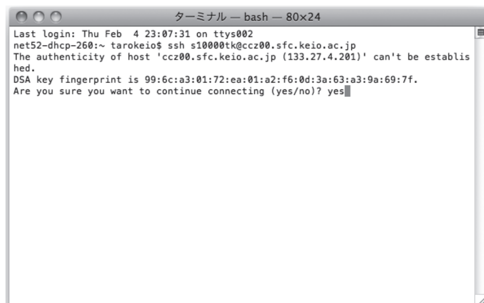


03

ターミナルが起動したら、コマンドラインに「ssh <CNSログイン名>@<サーバー名>」のように入力します。

ログイン名が「s11000tk」、サーバー名が「ccz00.sfc.keio.ac.jp」の場合、下のように入力します。

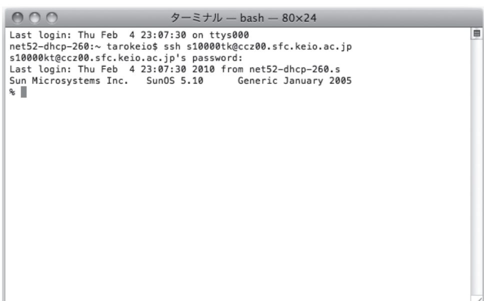
```
ssh s11000tk@ccz00.sfc.keio.ac.jp
```



04

初めて接続する場合、図のような接続先の正当性を確認するメッセージが表示されます。

表示されたら<yes>と入力してキーボードのReturnキーを押します。



05

図のようなメッセージが表示されたら、CNSログインパスワードを入力してキーボードのReturnキーを押します。

ウィンドウに「%」と表示されたら、リモートログインは完了です。

2-2 Windowsからリモートログインする（準備編）



01

Windowsでリモートログインを行う際には、専用のソフトウェアが必要です。ここでは代表的なソフトとして『PuTTY』を取り上げて解説します。

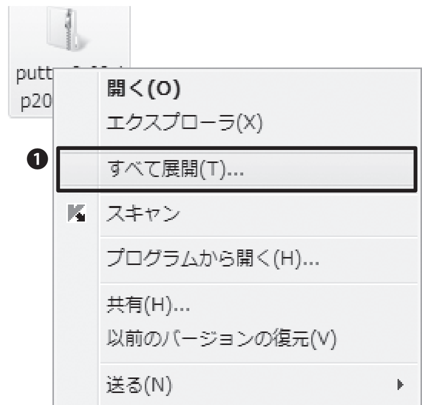
まず、日本語化された『PuTTY』を配布しているサイトにアクセスし、❶最新版をダウンロードします。

⇨ http://hp.vector.co.jp/authors/VA024651/PuTTYkj.html



02

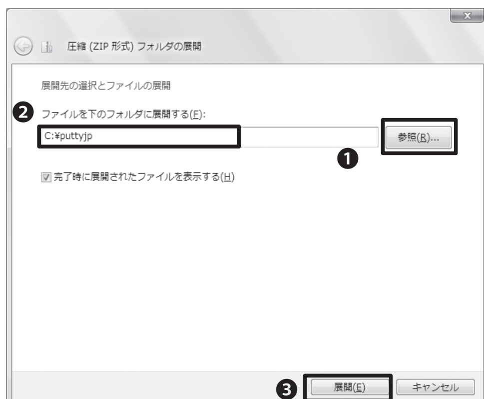
任意の場所（ここではデスクトップ）を指定し、❶「保存」をクリックします。



03

ここでは、Windows標準の機能を用いて展開する方法を紹介します。

ダウンロードしたファイルを右クリックし、❶「すべて展開」を選択します。

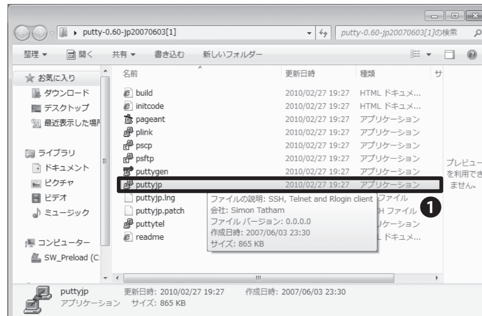


04

❶「参照」ボタンをクリックし、展開先を指定します。ここでは、「C:¥puttyjp」に展開します。

指定したら、❷「完了時に展開されたファイルを表示する」にチェックを入れて、❸「展開」をクリックしてください。展開後、ダウンロードしたファイルは削除して構いません。

2-3 WindowsからリモートログインするⅠ(操作編)



01

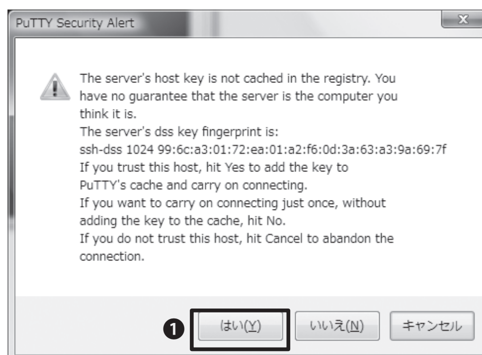
まず『PuTTY』を起動します。展開したフォルダ内の❶「puttyjp」を開きます。



02

❶「ホスト名 (またはIPアドレス)」に＜ccz00.sfc.keio.ac.jp＞と入力します。

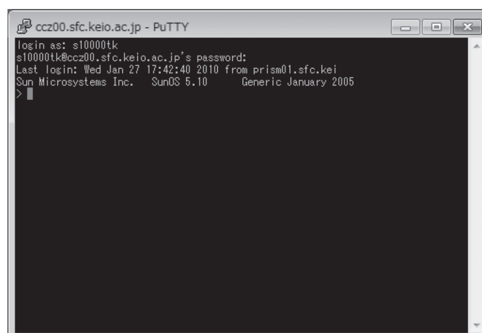
❷「接続タイプ」で「SSH」が選択されていることを確認し、❸「開く」をクリックします。



03

初めて接続したときだけ「PuTTY Security Alert」が表示されます。

ここでは❶「はい」をクリックします。



04

「login as:」と表示されるのでCNSログイン名を入力し、Enter キーを押します。

「password:」と表示されたらCNSログインパスワードを入力してEnter キーを押します。入力しても表示はされません。

「>」と表示されたら、リモートログインは完了です。

8 CNS 上にファイルを保存する

SFCの学生は1人につき10GBのファイル記憶領域をSFCのサーバ上に保有しており、ファイルのバックアップや作業領域として使用できます。

1 個人に割り当てられている領域

CNSには、レポートやメールなど個人的なファイルを保存するための領域が用意されています。この個人に割り当てられた記憶領域のことをホームディレクトリといいます。キャンパス内に備え付けてあるPCの各フォルダ/ドライブとの対応は以下のようになっています。

場所	CNSサーバー上での場所
Macのホームディレクトリ	/home/ログイン名/CNSiMac/
WindowsのZドライブ	/home/ログイン名
Windowsのデスクトップ	/home/ログイン名/XPDataCNS/CNSDESKTOP/
Windowsのマイドキュメント	/home/ログイン名/XPDataCNS/My Documents/
Windows7のデスクトップ	/home/ログイン名/7DataCNS/CNSDESKTOP/
Windows7のマイドキュメント	/home/ログイン名/7DataCNS/Documents/

個人に割り当てられた領域を10G以上使用してしまうと、CNSメールの受信などに支障がきたしますので注意してください。

2 ファイルの転送

01

キャンパス内に設置されているPCからは、CNSの記憶領域に直接アクセスできます。個人所有のPCからCNSの記憶領域にアクセスするためには、専用のファイル転送ソフトウェアを用います。

02

自分のノートPCなどで作成したファイルをCNSのホームディレクトリやアーカイブサーバに保存するために、ファイル転送ソフトウェアを用います。

SFCでは、SCPを利用してファイルを転送するソフトウェアを推奨しています。ここでは、WindowsではWinSCP、Macでは Cyberduckを用いた利用方法を説明します。

3 – 1 ファイル転送（Windows-WinSCP）

ここでは『WinSCP』というソフトを例に、ファイルの転送方法を説明します。

転送するファイルやディレクトリの名前に半角英数字以外の文字（主に日本語・全角記号）があると、ファイル名が文字化けしたり、転送できないことがあるので注意してください。



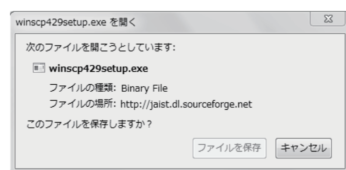
01

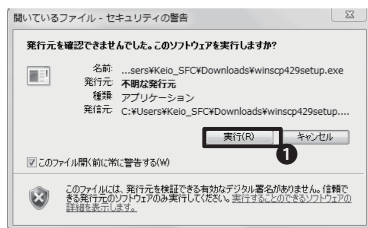
WEBブラウザを起動してWinSCPのWEBサイトを表示します。

⇨ http://winscp.net/

ページ上部の❶「Download」をクリックします。

「WinSCP 4.2.9 」(2011年3月現在）と書かれた欄の「Installation package」をクリックします。

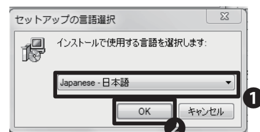




02

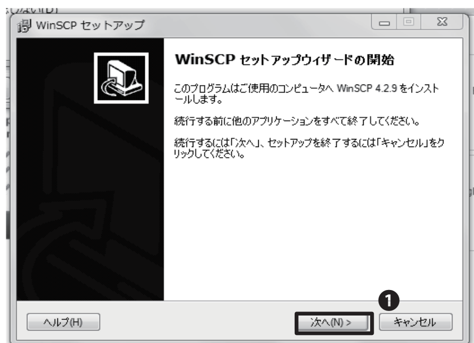
図のようなウインドウが出てきたら、「ファイルを保存」をクリックします。

ダウンロードが完了したら、❶「実行」をクリックしてください。安全性を確認するための警告が表示されたら「実行する」をクリックします。



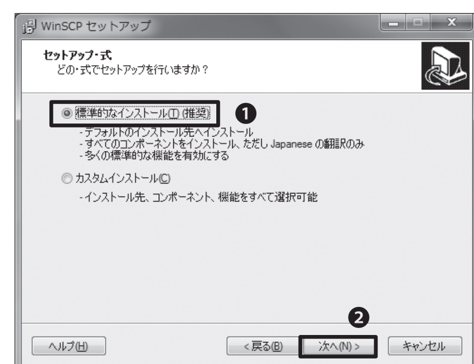
03

❶「Japanese - 日本語」が選択されていることを確認して❷「OK」をクリックします。



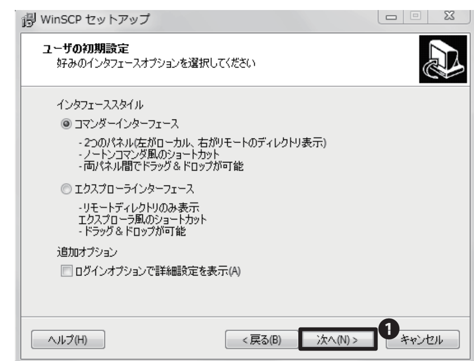
04

図のようなウインドウが表示されたら、❶「次へ」をクリックします。



05

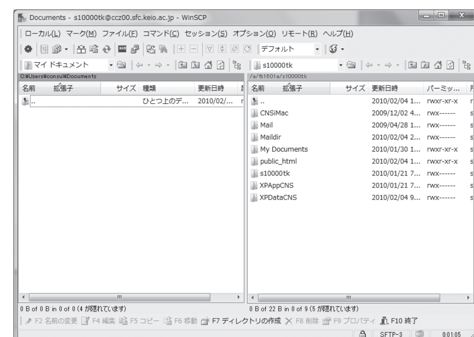
セットアップの種類を指定します。❶「標準的なインストール」が選択されている事を確認して、❷「次へ」をクリックします。



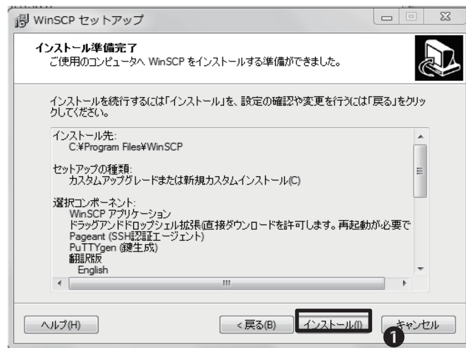
06

インターフェーススタイルを指定します。

「ノートンコマンダ」スタイルと「エクスプローラ」スタイルのうち、好みのインターフェーススタイルを選択して❶「次へ」をクリックします。



このガイドでは、左図のような「ノートンコマンダ」スタイルを選択した場合の使用方法を解説します。この設定はインストール後でも変更できます。



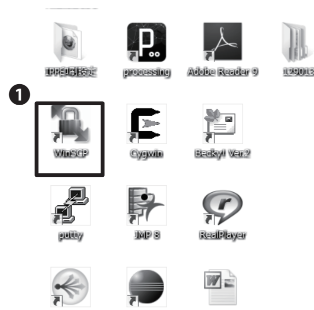
07

「インストール準備完了」と表示されます。❶「インストール」をクリックしてください。



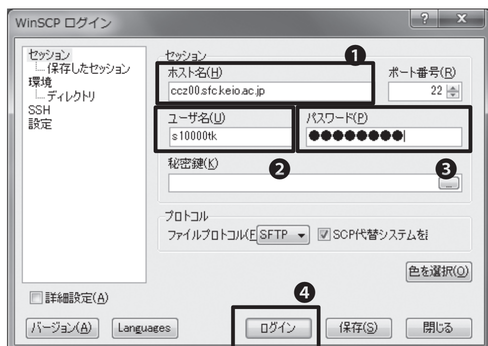
08

「WinSCP セットアップウィザードの完了」と表示されます。❶「完了」をクリックします。



09

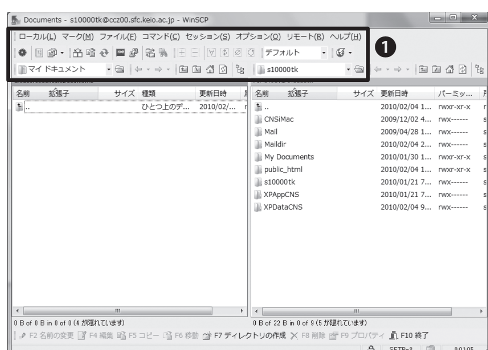
WinSCPを起動するには、デスクトップにある❶「WinSCP」のアイコンをクリックしてください。



10

左の図のようなウィンドウが表示されるので❶❷❸に必要な情報を入力します。この際、「保存」をクリックすると、設定を保存できます。

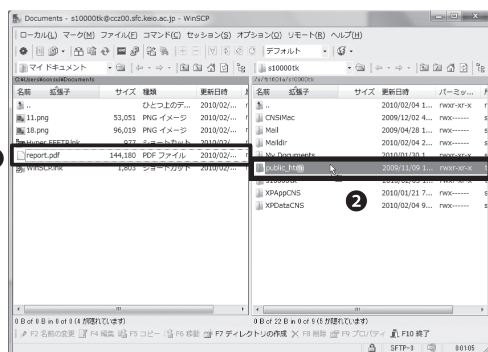
必要な情報を入力したら、❹「ログイン」をクリックしてください。はじめてログインする場合、接続先が正しいことを確認するウィンドウが表示されます。「はい」をクリックします。



11

ログインが成功すると、ウィンドウ左側に自分のPC、右側にホームディレクトリのファイルの一覧が表示されます。

❶ウィンドウ上部には操作を行うためのボタンが用意されています。操作したい対象を選択して、ボタンをクリックすることで、ファイルやフォルダに対する操作を行えます。

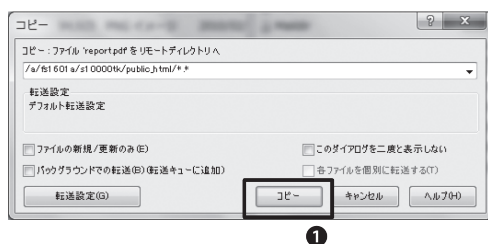


12

転送したいファイルを、ドラッグ＆ドロップすることで転送できます。

例えば、自分のPCにある「report.pdf」というファイルをサーバの「public_html」フォルダへ転送したい場合、図のように❶左側（ローカル）から❷右側（サーバ）へドラッグ＆ドロップします。

また、サーバから自分のPCにファイルを転送する場合は右側から左側へドラッグ＆ドロップします。



13

確認のウィンドウが表示されるので❶［コピー］をクリックすると、ファイルが転送されます。

ファイル転送の際、ファイル名やフォルダ名に日本語が含まれている場合は、ファイル転送が失敗する場合があるので注意してください。

3-2 ファイル転送（Mac OSX-Cyberduck）

ここではCyberduckというソフトを使った、ファイルの転送方法を説明します。

転送するファイルやディレクトリの名前に半角英数字以外の文字（日本語など）があると、ファイル名が文字化けしたり、転送できないことがあるので注意してください。

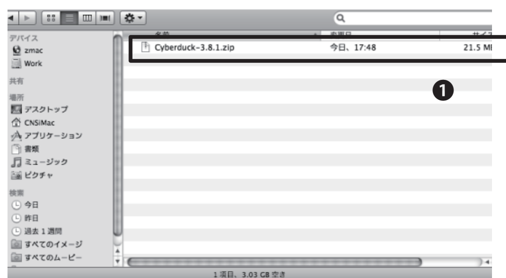


01

WEBブラウザを起動して、CyberduckのWEBサイトを開きます。

⇨ http://cyberduck.ch/

右側にある❶「Cyberduck3.8.1.zip」（2011年3月現在）をクリックします。



02

❶「Cyberduck-3.8.1.zip」をダブルクリックし、解凍します。ブラウザによってzipファイルを自動的に解凍するものもありますので、その場合はこの項目を飛ばします。



03

展開されたフォルダを表示します。

❶『Cyberduck』のアイコンを❷「アプリケーション」フォルダへ移動します。

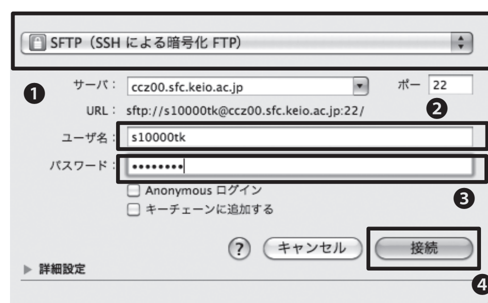
移動した先の『Cyberduck』のアイコンを選択すると『Cyberduck』が起動するようになります。

ダウンロードしたZIPファイルは、削除してかまいません。



04

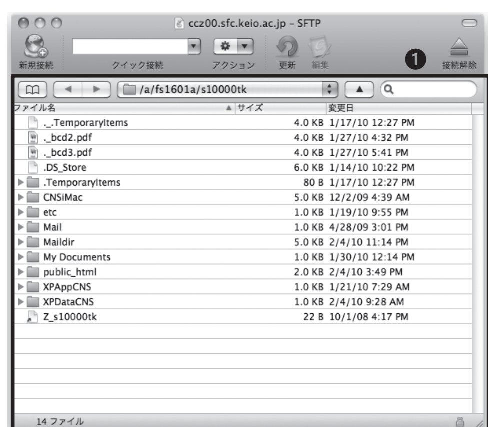
『Cyberduck』を起動し、左上にある❶「新規接続」をクリックします。



05

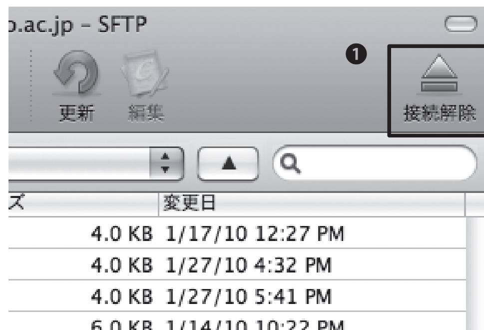
転送プロトコルを❶「SFTP(SSHによる暗号化FTP)」に設定し、「サーバ」を左図のように設定します。

❷「ユーザ名」と❸「パスワード」欄にCNSアカウントのユーザ名、パスワードを入力します。入力が完了したら、❹「接続」をクリックします。



06

正常に認証されると、このようなウィンドウが表示されます。❶ウィンドウ内に表示されているのはCNSホームディレクトリにあるファイルの一覧です。



07

Cyberduckでは、転送したいファイルをドラッグ＆ドロップすることでファイル転送ができます。自分のPCからサーバにファイルを転送するには、PCのローカルフォルダから、転送したいファイルをウィンドウ内にドラッグ＆ドロップします。

転送終了後はサーバとの接続を切断します。ウィンドウ右上にある❶「接続解除」ボタンをクリックすると、サーバとの接続が切断されます。これで、Cyberduckを安全に終了できます。

4 接続先ホストの一覧

ファイル転送もリモートログインと同様に、下のリストの中から接続先を指定します。ファイル転送では、どれを選んでも差はありません。

- ccz00.sfc.keio.ac.jp
- ccz03.sfc.keio.ac.jp
- ccx01.sfc.keio.ac.jp
- webedit.sfc.keio.ac.jp

9 WEB ページを公開する

CNSのホームディレクトリから自分のWEBページやファイルを公開できます。ここではその方法について解説します。

1 ファイルをWEBに公開する準備

CNSアカウントを持っていれば、外部に向けてWEBページやファイルを公開できます。大まかな手順は以下の通りです。

- ホームディレクトリに「public_html」ディレクトリを作成します
- 作成した「public_html」ディレクトリにファイルをアップロードします

こうすることで、「public_html」内に置いたファイルを公開することができます。次のURLを入力すると、学外からでもそのファイルにアクセスできます。

⇨ http://web.sfc.keio.ac.jp/~［ログイン名］/［ファイル名］

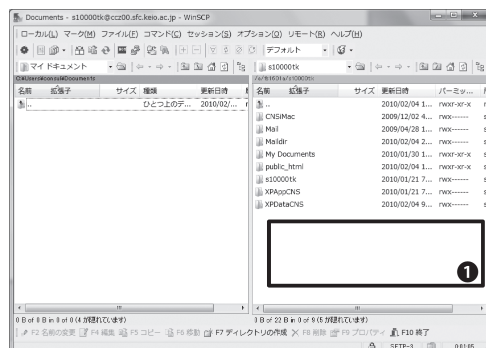
たとえば、ログイン名がs11000tk、ファイル名がreport.pdfのとき、実際のURLは次のようになります。

⇨ http://web.sfc.keio.ac.jp/~s11000tk/report.pdf

特別な操作をしない限り、「public_html」に置かれたファイルは、置かれたその時からインターネット上の誰でも見ることが可能となります。プライバシーに関するファイルや違法コンテンツなど、見られて困るようなファイルはここに置かないようにしてください。

2-1 実際にファイルをWEBに公開する（Windows）

WindowsからファイルをWEBに公開するには、ファイルを転送するソフトウェアが必要です。ここでは『WinSCP』を使った方法を紹介します。『WinSCP』のインストール及び使い方については【p.53　CNS上にファイルを保存する】を参照してください。



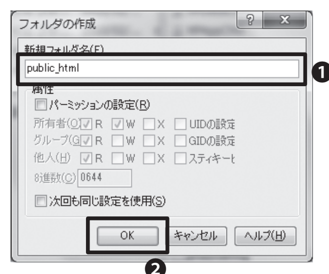
01

『WinSCP』から、CNSのリモートログインサーバへログインします。

左の画面のように、ホームディレクトリが表示されていることを確認します。

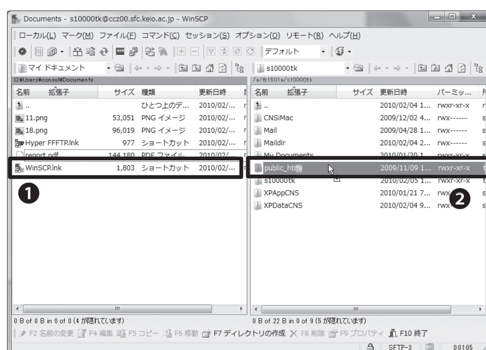
02

❶上の図の余白部分で「右クリック」し、「新規作成」を選択します。



03

❶「新規フォルダ」にpublic_html と入力し、❷「OK」をクリックします。



04

❶公開したいファイルを❷「public_html」にドラッグ＆ドロップすることで、ファイルを転送できます。

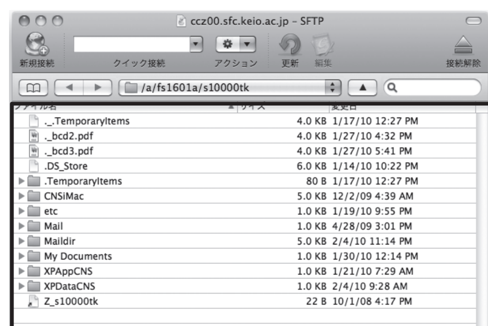
ファイルの転送が終了した時点で、ファイルは公開された状態になります。この一連の行程を「アップロード」といいます。

アップロードすると、以下のアドレスがファイルのURLとなります。

⇨ http://web.sfc.keio.ac.jp/~**ログイン名/ファイル名**

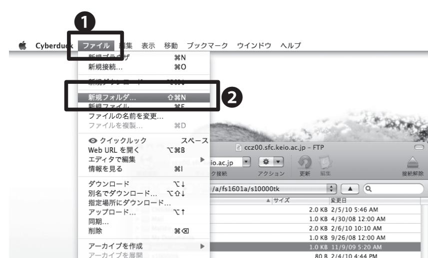
2-2 実際にファイルをWEBに公開する（Mac OS X）

MacからファイルをWEBに公開するには、ファイルを転送するソフトウェアが必要です。ここでは『Cyberduck』を使った方法を紹介します。『Cyberduck』のインストール及び使い方については【p.53　CNS上にファイルを保存する】を参照して下さい。



01

『Cyberduck』から、CNSサーバへログインし、❶ホームディレクトリが表示されていることを確認します。



02

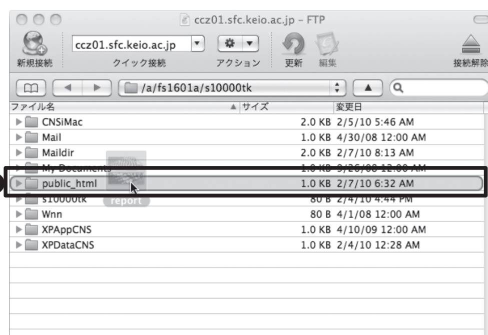
画面上部の❶「ファイル」から❷「新規フォルダ」を選択します。



03

「新規フォルダの名前を入力してください」の欄に❶「public_html」と入力します。

最後に❷「作成」ボタンをクリックすればフォルダ作成の完了です。



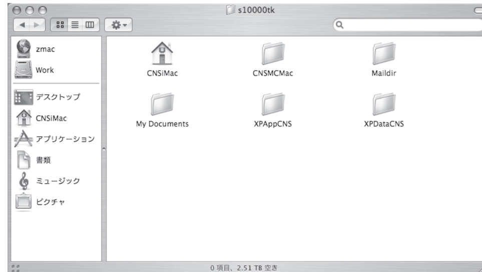
04

以降は、公開したいファイルを、「public_html」まで❶ドラッグ＆ドロップすることで、ファイルを公開出来ます。

この一連の行程を「アップロード」といいます。

2-3 キャンパス内のPCから公開する（Mac OS X）

キャンパス内のPCからは、ファイル転送ソフトを使わずにファイルを公開できます。



01

デスクトップから「CNS_HOMEDIR」を開きます。



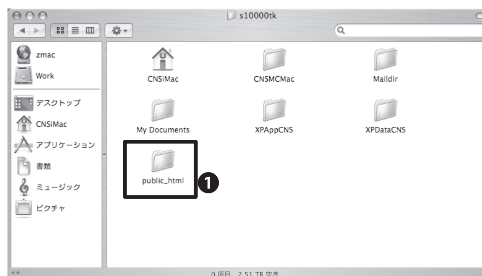
02

❶余白で右クリックして❷「新規フォルダ」を選択します。



03

❶「名称未設定フォルダ」に「public_html」と名前をつけます。



04

公開したいファイルを❶「public_html」内に保存します。

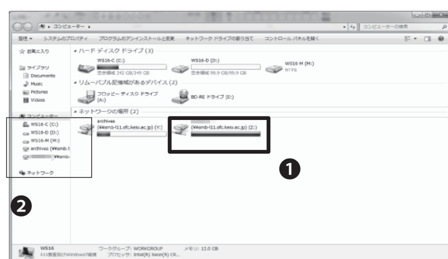
これでファイルのアップロードは完了です。

2-4 キャンパス内のPCから公開する（Windows）



01

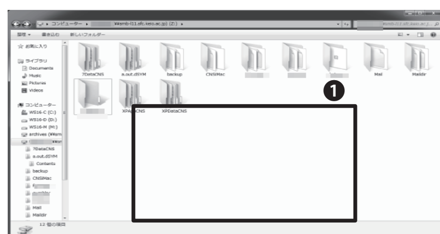
デスクトップから❶「コンピューター」を開きます。



02

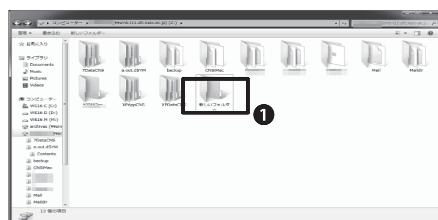
「ネットワークドライブ」の❶「ボリュームZ」を開きます。

[‘Samba x.x.xxx-Debian(smb-xxx.sfc.keio.ac.jp) ‘]という名称のもので、❷詳細パネルで「(Z)」と命名されている方を選択します。



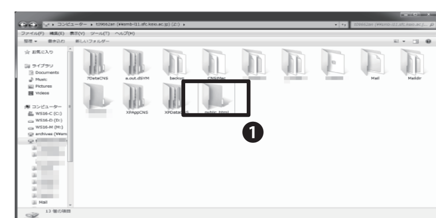
03

❶余白で右クリックし、「新規作成」→「フォルダ」を選択します。



04

❶新しいフォルダに「public_html」と名前をつけます。



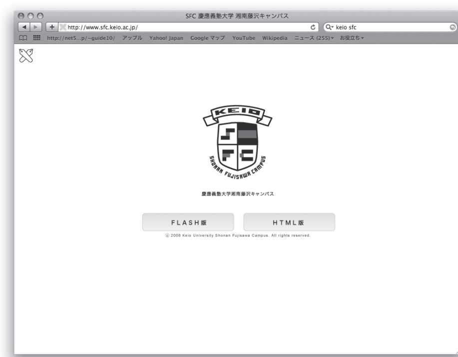
05

❶公開したいファイルを「public_html」内に保存します。

これでファイルのアップロードは完了です。

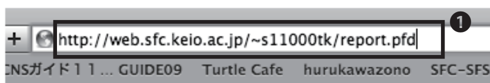
3 アップロードしたファイルを確認する

「public_html」に保存されたファイルはWEBブラウザを使って簡単に閲覧、ダウンロードできます。



01

WEBブラウザを起動します。



02

アドレス入力欄に【p.56　ファイルをWEBに公開する準備】にある通り、❶「http://web.sfc.keio.ac.jp/~ログイン名/ファイル名」を正しく入力して、EnterもしくはReturnキーを押します。

10 ウイルスに感染しないようにする

PCをウィルスから守るために慶應義塾が提供しているソフトウェアや、OSに搭載されているサービスを紹介します。

1 セキュリティアップデート

悪意のあるプログラムからPCを守る方法の1つに、セキュリティアップデートがあります。

ここでは、WindowsとMacでのセキュリティアップデートについて説明します。

2 アップデートの意義

アップデートとは、ソフトウェアが発売された後に見つかった欠陥等に対する修正や、機能の向上を行う作業です。

各OS用の更新プログラムは随時公開され、様々な不具合への対応が行われています。不具合の例としては以下のものが挙げられます。

- ソフトウェアが異常な動作をする
- ファイルが破損したり、消滅する
- ウィルスに感染しやすくなる

ソフトウェアの不具合のうち、第三者が悪用しうるものを"セキュリティホール"といいます。セキュリティホールを放置すると、ウィルスに感染したり、攻撃を受けたりすることがあります。

OSやアプリケーションの不具合に関する情報をこまめにチェックし、常に最新の状態を保つようにすることで、被害を未然に防げます。

3 Windowsアップデート

Windowsの初期状態では、Windowsの自動更新を有効にすることが推奨されています。これが有効になっていることを確認してください。

自動更新が有効になっていると、Windowsの重要な更新は自動的に行われます。新機能などオプションの更新プログラムは自動的に適用されません。これを適用するには【p.69　手動で更新する】の項目を参照して手動で行います。

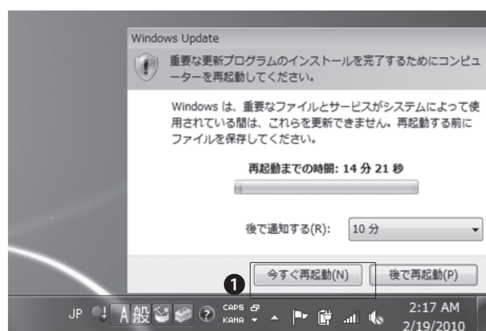
4-1 自動で更新する



01

自動更新が有効になっている場合、Windowsは自動的に更新プログラムをダウンロードし、インストールを開始します。

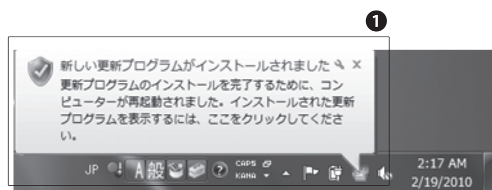
インストール中には、タスクトレイにWindows Updateのアイコンが表示されます。



02

更新プログラムのインストールが終了すると、タスクトレイの近くに再起動を促すメッセージが表示されることがあります。

その場合、保存していないファイルが無いかどうかを確認し、❶「今すぐ再起動」をクリックして再起動します。



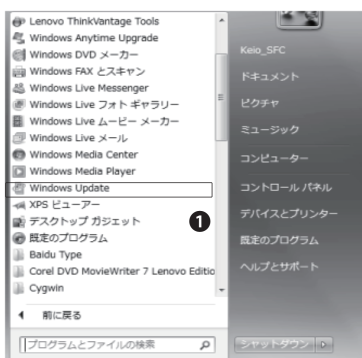
03

再起動後、更新プログラムがインストールされたことを知らせる❶メッセージがタスクトレイ付近に表示されます。

インストールされた更新プログラムを確認する場合は、そのメッセージをクリックします。

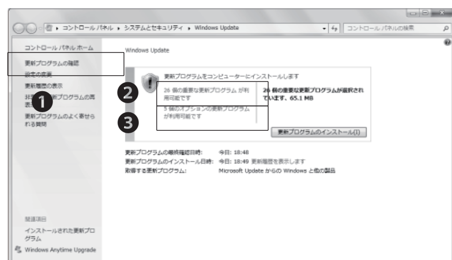
4-2 手動で更新する

Windowsの自動更新を無効にしている場合や、オプションの更新プログラムを適用したい場合には、以下の手順で更新してください。



01

スタートメニューを開き、「すべてのプログラム」をクリックします。表示される一覧にある❶「Windows Update」をクリックします。

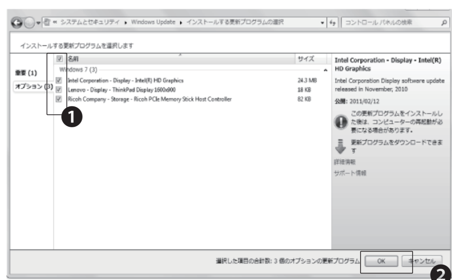


02

左にある、❶「更新プログラムの確認」をクリックします。

オプション以外の更新プログラムをインストールする場合、❷「X個の重要な更新プログラムが利用可能です」をクリックします。

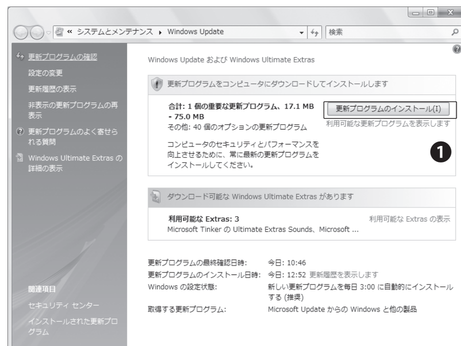
オプションの更新プログラムをインストールする場合、❸「X個のオプションの更新プログラムが利用可能です」をクリックします。



03

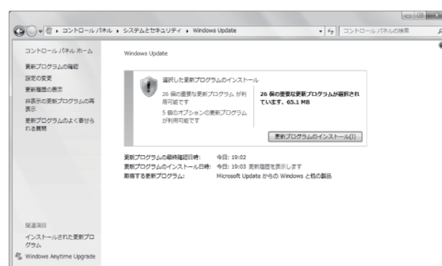
各更新プログラムの左側に❶チェックボックスがあるので、インストールしたい更新プログラムの欄にチェックを入れます。

チェックしたら❷「OK」をクリックします。



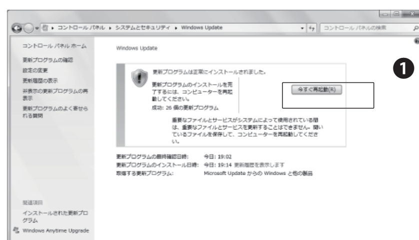
04

左の画面のようになったら、❶「更新プログラムのインストール」をクリックします。



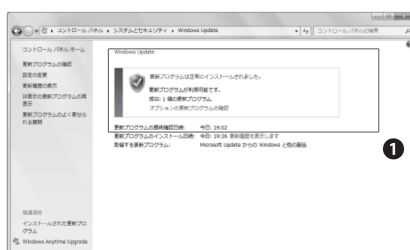
05

インストールが終了するまで待ちます。



06

更新プログラムのインストールを完了するために再起動を求められる場合があります。その場合、
❶「今すぐ再起動」をクリックして再起動します。



07

再起動が求められない更新の場合、更新が完了したことを通知する❶ウィンドウが表示されます。

5 ソフトウェア・アップデート（Mac OS X）



01

画面左上のアップルメニューから❶「ソフトウェア・アップデート」を選択します。

インターネットに接続されていれば、ソフトウェアの更新が確認され、更新があればその一覧が表示されます。



02

右下の❶「X項目をインストール」をクリックします。パスワードを聞かれた場合、使用しているPCのパスワードを入力してください。

使用許諾契約が表示されるので、内容を確認して同意したうえで「同意します」を選びます。

インストール終了後、再起動を求められた場合は「再起動」をクリックしてPCを再起動します。

6 ウィルスの弊害について

ウィルスに感染してしまうと、自分の気付かないうちに次のような被害・現象にあう場合があります。

- PC内の情報が意図せずネットワーク上に流出する
- ウィルスの添付されたメールが意図せず不特定多数に送信される
- 自分のPCが勝手に他人のPCを攻撃する

ウィルスは、感染したPCから他のPCへ次々に感染拡大していきます。このような被害の拡大を防止するため、CNSではウィルスに感染していると思われるPCをネットワークから切断します。

7 アンチウィルスソフトウェアについて

インターネットに接続されたPCには、ウィルスなど悪意のあるプログラムに感染する危険があります。

ウィルスには、直接侵入してくるものやメールに添付されてくるもの、WEBページを閲覧すると感染してしまうものなど、さまざまな形態があるので注意が必要です。

しかし、常にすべての動作に対して注意を払い続けるのは現実的ではありません。これらを自動的に監視し、もしウィルスを発見すれば自動的に除去しようとしてくれるのがアンチウィルスソフトウェアです。

8 アンチウィルスソフトウェアのインストール

慶應義塾では、ライセンスの申請をすることでWindows用とMac用のKaspersky Internet Securityを、1人につきPC1台分だけ利用することができます。ここでは、その申請とインストール方法について説明します。

ライセンスの申請にはkeio.jpのアカウントが必要です。keio.jpのアクティベーションを行っていない場合は【p95.　keio.jpを利用する】を参照して先にアクティベーションを行ってください。



Kaspersky Internet Securityを利用する

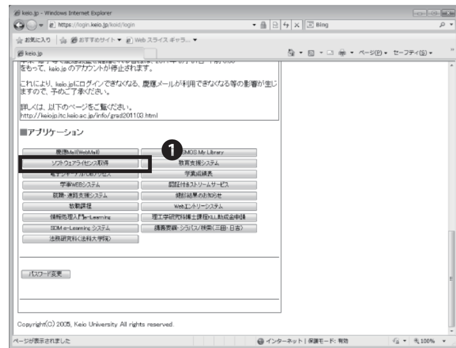


01

1台のPCに複数のアンチウィルスソフトウェアがインストールされていると、ソフトウェアが正しく動作しない場合があります。

購入したPCには、アンチウィルスソフトウェアの体験版があらかじめインストールされている場合があります。その場合、事前に削除しておく必要があります。

削除は、スタートメニューの「コントロール パネル」から❶「プログラムのアンインストール」を選ぶことで行えます。



02

WEBブラウザを起動して、『keio.jp』のWEBサイトを表示します。

⇨ http://keio.jp/

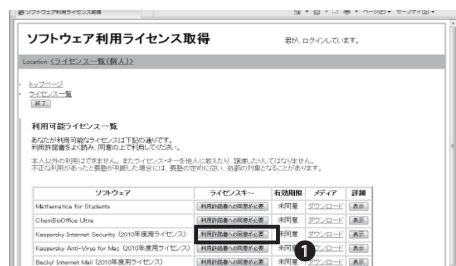
Keio IDとパスワードを入力してログインします。ログインしたら、❶「ソフトウェアライセンス取得」をクリックします。



03

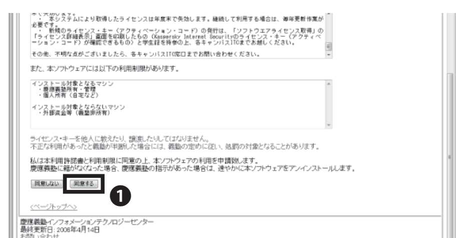
新しいウィンドウで図のようなページが表示されます。左側の❶「ライセンス一覧」をクリックします。

10－1 Kaspersky Internet Securityを設定する（Windows）



01

「利用可能ライセンス一覧」が表示されます。表内の「Kaspersky Internet Security」の隣にある、❶「利用許諾書への同意が必要」をクリックします。

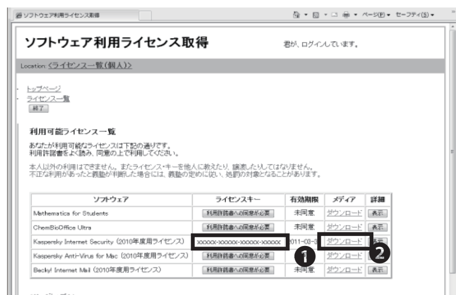


02

ソフトウェア使用許諾契約書、利用上の注意事項、そして利用制限が表示されます。これらすべての内容を確認してください。

内容に同意する場合は、ページ下部の ❶「同意する」をクリックします。



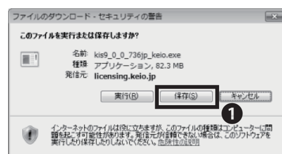


03

利用条件に同意すると「ライセンス情報を登録しました。」と表示されるので、WEBブラウザの「戻る」をクリックします。

ライセンスの一覧に戻ると、❶「ライセンスキー」欄に英語と数字で20桁の文字列が表示されます。

このライセンスキーは、後ほどソフトウェアのインストールを実行するときに必要です。覚えたら、❷「ダウンロード」をクリックします。



04

左のような画面が表れるので、❶「保存」をクリックします。



05

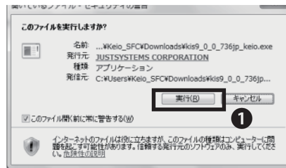
保存場所は任意で構いません。❶保存する場所を指定して❷「保存」をクリックします。

ダウンロードが始まるので、完了するまで待ちます。

06

インストール中に他のプログラムが動作していると、インストールに失敗する場合があります。

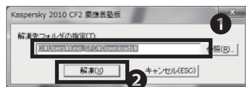
ダウンロードに利用したWEBブラウザも含め、動作中のプログラムをすべて終了させます。



07

ダウンロードしたインストールプログラムを実行します。ダウンロードした「kis9_0_0_736jp_keio.exe」（2011年3月現在）というファイルをダブルクリックします。

警告が表示される場合がありますが、❶「実行」をクリックします。



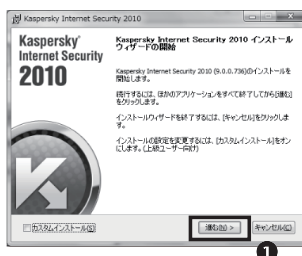
08

解凍先フォルダを選択する画面が表示されるので、❶任意の場所（ここでは「Downloads」）を指定して❷「解凍」をクリックします。



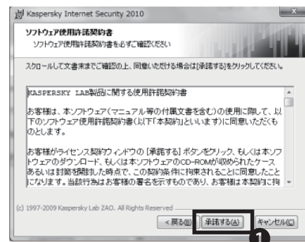
09

解凍が終わると左のようなメニューが表示されるので❶「インストール」をクリックします。



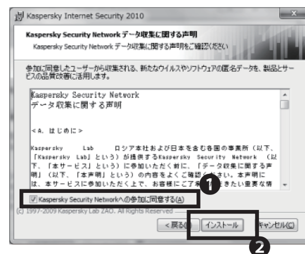
10

クリックしてしばらくすると図のような画面が表示されるので、❶「進む」をクリックします。



11

使用許諾契約書が表示されます。内容はライセンス申請の際に表示されたものと同一です。❶「承諾する」をクリックします。



12

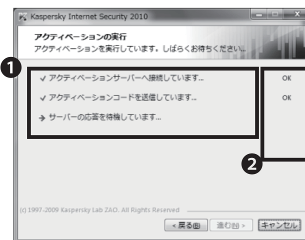
「Kaspersky Security Network データ収集に関する声明」と表示されるので❶「Kaspersky Security Networkの参加に同意する」にチェックし、❷［インストール］をクリックします。



13

❶「製品版のアクティベーション」をクリックし、❷「アクティベーションコードの入力」に【手順03】で表示されたライセンスキーを入力します。

続いて❸「進む」をクリックします。



14

次の図のように❶ 3 つの項目が表示されるのですべて❷「OK」と表示されるのを確認します。

自動的に次の画面に移ります。





15

続いて、システム分析が始まるのでしばらく待ちます。



16

システム分析が終わると設定作業は完了です。❶「終了」をクリックします。

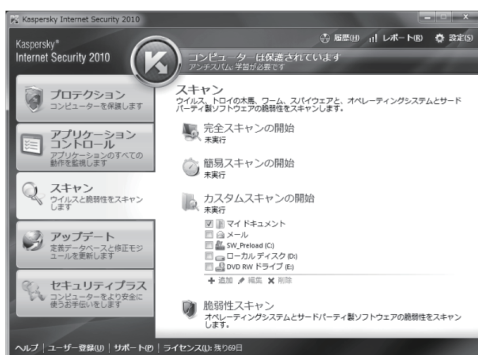


17

再起動すると、タスクトレイ（画面右下のアイコン群）にKaspersky Internet Securityのアイコンが追加されています。

ウィルス定義の更新時期が来ると、この位置にポップアップメッセージが表示されます。

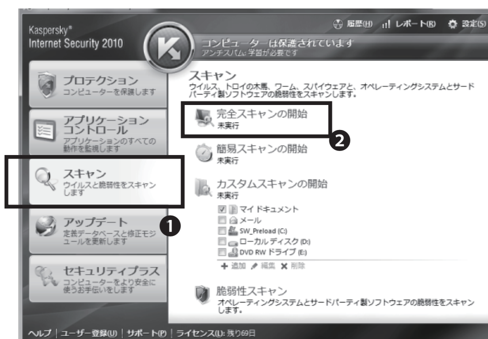
その場合、表示された指示に従ってください。



18

最後に、インストール以前にウィルスに感染していた場合の対策として、「完全スキャン」を実行します。

次の手順に進みます。



19

タスクトレイのKaspersky Internet Securityのアイコンをクリックし、管理画面を表示します。

管理画面❶「スキャン」タブを開きます。

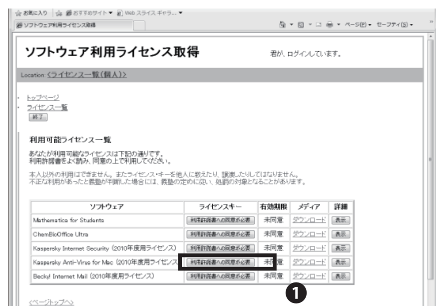
❷「完全スキャン」をクリックし、完全スキャンの設定画面を表示します。

20

スキャンする場所を確認し、右下の「開始」をクリックして完全スキャンを開始します。

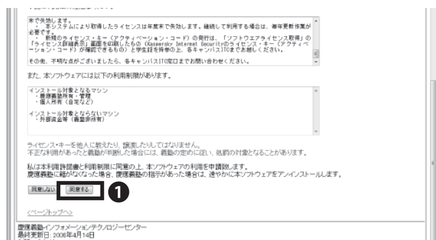
以上で作業は終了です。

10－2 Kaspersky Internet Securityを利用する（MacOS X）



01

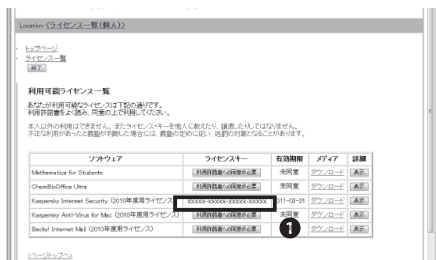
「利用可能ライセンス一覧」が表示されます。表内の「Kaspersky Anti - Virus for Mac」の隣にある、❶「利用許諾書への同意が必要」をクリックします。

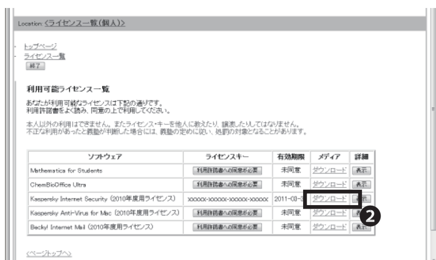


02

ソフトウェア使用許諾契約書、利用上の注意事項、そして利用制限が表示されます。これらすべての内容を確認してください。

内容に同意する場合は、ページ下部の ❶「同意する」をクリックします。





03

利用条件に同意すると「ライセンス情報を登録しました。」と表示されるので、WEBブラウザの「戻る」をクリックします。

ライセンスの一覧に戻ると、❶「ライセンスキー」欄に英語と数字で20桁の文字列が表示されます。

このライセンスキーは、後ほどソフトウェアのインストールを実行するときに必要です。覚えたら、❷「ダウンロード」をクリックします。

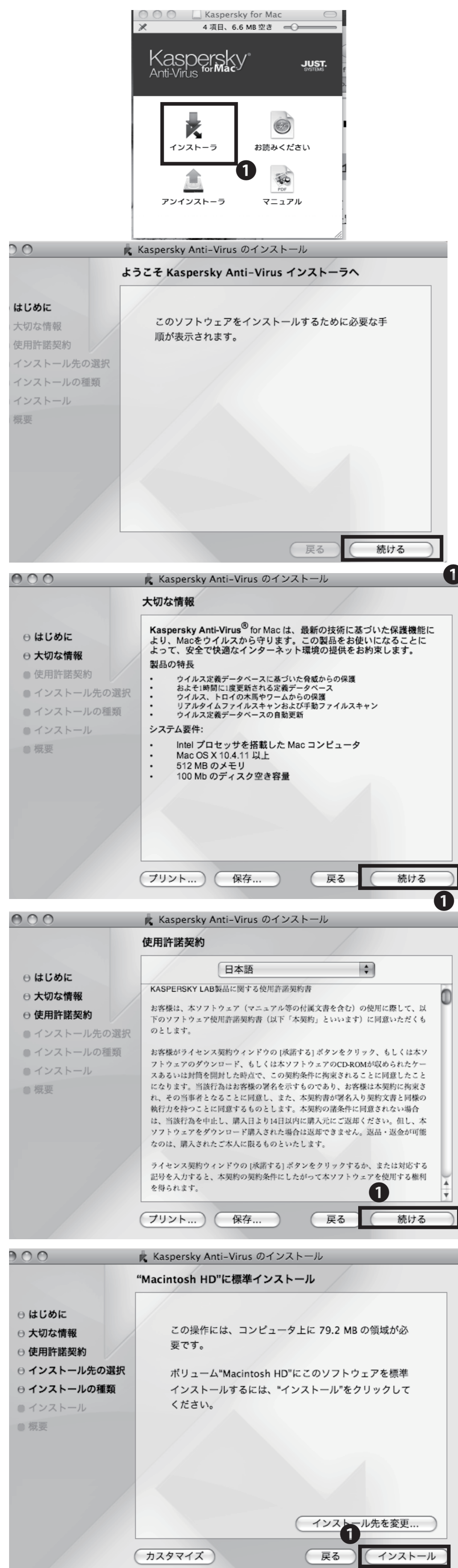


04

左のような画面が現れるので、❶「ファイルを保存」をクリックします。ダウンロードが始まるまで、完了するまで待ちます。

インストール中に他のプログラムが動作していると、インストールに失敗することがあります。

ダウンロードに利用したWEBブラウザも含め、動作中のプログラムをすべて終了させます。



05

ダウンロードしたインストールプログラムを実行します。「Kaspersky for Mac」というファイルをダブルクリックします。

❶「インストーラ」をクリックして開きます。

06

クリックしてしばらくすると図のような画面が表示されるので、❶「続ける」をクリックします。

07

「大切な情報」が表示されます。❶「続ける」をクリックします。

08

「使用許諾規約」が表示されるので、
言語を「日本語」に設定して❶「続ける」
をクリックしま

09

「インストール先の選択」が表示されたら、「Macintosh HD」をクリックし、「続ける」をクリックします。

10

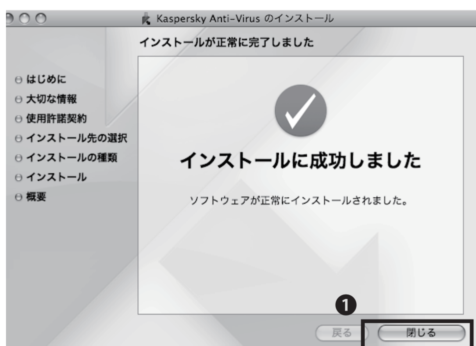
「"Macintosh HD"に標準インストール」と表示されるので、❶「インストール」をクリックします。



11

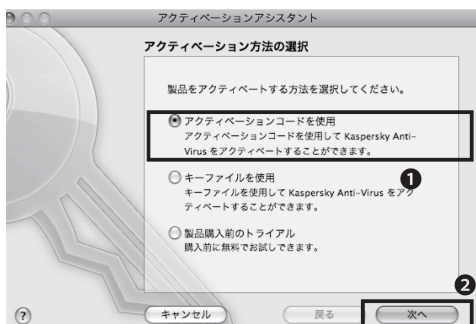
左のような画面が表示されたら、❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力します。

入力したら❷「OK」をクッリクします。



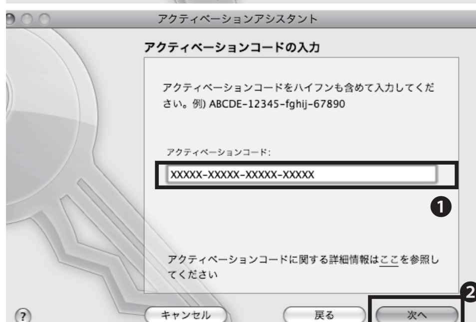
12

これで設定作業は完了です。❶「閉じる」をクリックします。



13

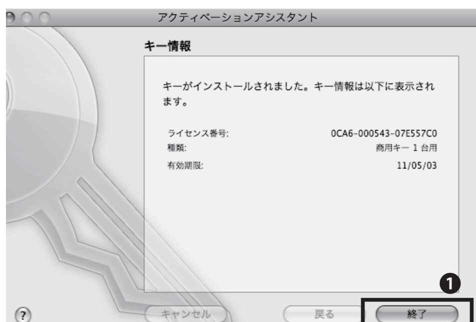
続いて「アクティベーション方法の設定」が表示されます。❶「アクティベーションコードを使用」にチェックして、❷「次へ」をクリックします。



14

「アクティベーションコードの入力」が表示されたら、ライセンスキーを❶「アクティベーションコード」に入力します。

入力したら、❷「次へ」をクリックします。



15

「キー情報」が表示されます。❶「終了」をクリックします。

16

「安全な状態です」と表示されたら、作業は完了です。

2 CNSへようこそ

この章ではCNS上のサービスを利用する際必要となる申請の方法や、利用に関する注意点などをまとめています。

2

1 コンサルタントについて

CNS上のサービスをはじめ、SFCの施設や設備の利用を手助けするため、メディアセンターに常駐しているコンサルタントについて解説します。

1 CNSコンサルタントについて

CNSコンサルタントではノートPC、無線LANカード、DVDドライブの貸出サービスと、PCに関する各種トラブル、不具合の相談サービスを行っています。

窓口受付時間はメディアセンターの開館状況に従い、土曜日や長期休業中は業務を行いません。災害、行事、休日などによってメディアセンターの閉館時間に変更がある場合、CNSコンサルタントの窓口受付時間も変更になる場合があります。

メディアセンターの開館時間に関する情報は『メディアセンターのWEBサイト』に掲載されます。

⇨ http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/

詳しくは下の表の通りです。

場所	WEBサイト	受付時間
メディアセンター 1F 奥	http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/	平日 9:20 - 22:30 ※土、日、祝日、慶應義塾が定める休日は休業

2 CNSコンサルタントの機器貸出しについて

貸出機器を借りる場合は、あらかじめCNSコンサルタントブースにある借用証に記載された規約を熟読し、遵守しなければなりません。借用・返却時には学生証（教職員はキャンパスカード）の提示が必要です。提示がない場合は借用・返却手続きを行えません。

また、借用・返却とともに利用する本人がブースまで直接出向いてください。代理借用や代理返却はできません。機器貸出についての詳細はCNSコンサルタントのWEBページを参照してください。

⇨ http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/

貸出している機器は右の表の通りです（2011年3月現在）。

貸出し機器	機器型番	備考
ノートPC	IBM ThinkPad T510 Apple MacBook 13 inch	CD・DVD-ROMを読み込み可能 CD・DVD-R -RWを書込可能
DVDドライブ	I・O・DATA DVRP-iUP2	USB1.1、USB2.0で接続可能 CD・DVD-ROMを読み込み可能 CD・DVD-R -RWを書込可能
無線LANカード	BUFFALO WLI-PCM-L11	PCカードType II　IEEE802.11b

3 貸出ノートPCソフトウェア一覧

CNSコンサルタントが貸出しているWindowsノートPCについて、あらかじめインストールされているソフトの一覧です。使用できるソフトウェアは、下の表のとおりです。（2011年3月現在）

用途	ソフトウェア名称
PDFファイルの閲覧	Adobe Reader
圧縮解凍	Lhaplus
インターネットブラウザ	Mozilla Firefox
擬似UNIX環境	Cygwin
データ分析	JMP SPSS(PASW Statistic) SAS R
テキストエディタ	TeraPad xyzzy
グラフィック関連	GIMP Inkscape Processing
メールソフト	Becky! Ver2. Mozilla Thunderbird
Office	Microsoft Office 2010
音像/映像	Quick Time RealPlayer SP
ネットワーク関連	PuTTY WinSCP Tera Term
その他	Kaspersky Anti-Virus for windows workstation Adobe Flash Player Java Development SWI-Prolog website SWI-Prolog development

4 AVコンサルタントについて

メディアセンター1階AVカウンタでは、研究・教育・学習を目的としたビデオカメラ、デジタルカメラ、および関連機材の貸出をしています。

貸出期間　：　SFCの学生は３泊４日、教職員は７泊８日。ただし、DVDプレーヤのリモコン、スキャナのスライドホルダ等館内専用の機材は当日中に返却してください。

貸出手続　：　AVカウンターで「AV機材借用証」に記入し、学生証（教職員はキャンパスカード）を提示してください。AVコンサルタントが機材をチェックのうえ貸し出します。

返却手続　：　返却期限までにAVカウンターに機材を返却してください。返却時も学生証（キャンパスカード）を提示してください。AVコンサルタントによる機材チェック後「AV機材借用書」に返却確認の署名をしてください。

注意事項　：

- 「AV機材貸出規制」をよく読み、遵守してください。

  ⇨ http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/general/kisoku.html

- 夏季並びに冬季のキャンパス一斉休業に伴うメディアセンターの休館前は、貸出期限が短縮されます。その他学事日程に伴い、貸出期間を変更する場合があります。
- 借用者本人の学生証（キャンパスカード）の提示がない場合は貸出しできません。
- 貸出台数は、特定の機材を除いて１人１台です。
- 追加で機材を借りる場合は、現在借用中機材の借用証に追記するため、係員に申し出てください。返却日は最初に借りた機材と同一日です。
- 機材の予約はできません。
- 必ず借用者本人が返却してください。
- 他人への又貸しは認めません。グループでの使用の場合、借用者が返却まで責任をもって管理してください。
- 貸出期間の延長はできません。もう一度借りたいときは、返却手続き終了後、あらたに貸出手続きを行ってください。
- 機材を紛失・破損した場合には、速やかにAVカウンターに申し出てください。
- 機材の紛失・破損については、補修に関わる実費あるいは、同一機材で弁償していただきます。
- 返却期限に遅れた場合や機材の扱いに問題のある場合は、貸出しサービスを一定期間停止します。

場所	WEBサイト	受付時間
メディアセンター 1F 奥	http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/general/avcir.html http://avcon.sfc.keio.ac.jp/portal/	授業期間 平日 9:15 - 22:30 土曜 9:15 - 18:30 休業期間 平日 9:15 - 17:30 土曜 9:15 - 15:30

※土曜の11:30-12:30は休止（昼休み）



AVコンサルタントの機器貸出について

貸出しを行っている機器の一覧は下の表の通りです。

（2011年3月現在）

機材	型番
ビデオカメラ	Sony VX2100
	Panasonic DVX100A
	Sony HVR-A1J
	Sony iVIS HF S10
デジタルスチルカメラ	Sony Cybershot DSC-R1
デジタルレコーダ	Sony PCM-M10
その他	ビデオライト、三脚、ヘッドホンなど

2 利用申請が必要なサービス

利用申請が必要なCNSサービスと、ライセンスの交付が可能なソフトウェアについて、その申請方法を解説します。

1 利用に申請が必要なサービス



01

CNSから特定のネットワークサービスを利用するときは、申請書を提出する必要があります。

ITCのWEBページにアクセスし、左のメニューから❶「各種申請」をクリックします。

02

申請したいサービスを選択し、申請書をダウンロードします。必要事項を記入して、ITC窓口に提出してください。申請はオンライン上でできるものもあります。

利用に申請が必要なサービスは、下の一覧表で確認してください。

サービス名	対象	備考
外部SMTPサーバ利用申請	学生・教職員	キャンパス内のネットワークから学外のメールサーバを経由してメールを送信できる。
P2Pファイル交換ソフトウェア利用申請	教職員（責任者）	研究目的に限り、キャンパス内でファイル交換ソフトウェアを利用できる。
メーリングリスト申請	教職員のみ	サークルや授業などで使用可能なメーリングリストを作成できる。
共用作業領域申請	教職員のみ	CNSの共用作業領域を利用できる。
遠隔会議システム借用申請	教職員のみ	遠隔会議・授業・イベントで使用可能なビデオ会議システムを利用できる。
CNS機器接続申請	専任教職員のみ	CNSへ機器を接続し、ホスト名・固定IPアドレスを取得できる。
サブドメイン申請	専任教職員のみ	研究室などで使えるサブドメインを取得できる。
サブネットの申請	専任教職員のみ	研究室などで専用のサブネットを取得できる。

2 サイトライセンスソフトウェア

サイトライセンスソフトウェアとは、慶應義塾またはSFCが一括して契約している在学生のためのソフトウェアです。在学中は申請することで個人のPCにインストールできます。申請はオンライン上でできるものと、ITCでの申請書の記入とその場でのインストールが必要なものがあります。現在利用できるソフトウェアには次のものがあります。(2011年3月現在)

ソフトウェア名	概要	インストール可能者
LabVIEW	計測プログラム開発環境	学生
JMP	統計解析ソフト	教職員、学生
Mathematica	技術計算ソフトウェア	教職員、学生
SAS	統計解析ソフト	教職員、学生
SPSS	統計解析・データマイニングソフト	教職員、学生
Amos	共分散構造分析ソフト	教職員、学生
Microsoft社各ソフトウェア		教職員(常勤の専任/準専任)
Becky! Internet Mail	メールソフト	教員、学生
FAME	データベース管理・分析ソフト	教職員、研究員、学生
Adobe社各ソフトウェア【購入】		教職員
MATLAB	数値解析ソフトウェア	教職員
ChemBioOffice	統合化学ソフトウェア	教職員、学生
Kaspersky Internet Security	セキュリティソフトウェア	教職員、学生

01

『ITCのWEBサイト』にアクセスし、左メニューから❶「サイトライセンスソフトウェア」をクリックします。

⇨ http://itc.sfc.keio.ac.jp/

02

申請したいサービスを選択し、❶「詳細」をクリックします。

それぞれのソフトウェアについて、申請方法が記載されてるので、それに従います。

3 CNS 利用に関する注意

CNSは6000人を超える利用者がいる共有資源です。一人一人の責任を持った行動で、キャンパスライフをよりよいものにしましょう。

CNSには6000人を超える利用者がいます。コンピュータやネットワークは利用者全員の共有資源です。以下に代表的な注意点を挙げますが、この他にも他の利用者に迷惑がかかるような行為は慎むようにしてください。詳しくはSFC-CNS利用内規を参照してください。

1 コンピュータを利用しながら飲食をしないこと

コンピュータや各種機器には精密機器が入っている為、飲食厳禁です。また飲食物・濡れた傘・上着・荷物などを上に載せないでください。フタの付いたペットボトルドリンク等も含みます。

2 コンピュータを占有しないこと

コンピュータの台数には限りがあります。他の利用者の迷惑になるので、ログインしたまま長時間にわたって席を離れないでください。

Tips

ノートPCのACアダプタを忘れてしまった場合

CNSコンサルタントでは、ノートPC・DVDドライブ・無線LANカードなどの機器貸出以外にも、ACアダプタの貸出サービスをおこなっています。ただし、ACアダプタはCNSコンサルタントブース内だけの使用に限ります。

Tips

CNSコンサルタントの対応について

CNSコンサルタントは、PCやCNSに関するさまざまな質問に対応します。PCやCNSで困った事があれば、CNSコンサルタントに来てください。ただし、授業に関する質問はSA・TAまたは担当教員に質問してください。

3 SFCに関するWEBサイト

3

1 SFC-SFS を利用する

SFC-SFSは学生・教員・職員のコミュニケーション支援システムです。授業や研究会などの情報を閲覧できます。



01

『SFC-SFS』のログインページにアクセスします。

⇨ https://vu.sfc.keio.ac.jp/sfc-sfs/

CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力して、「ログイン」をクリックすると、図のような画面が表示されます。



02

❶「MY時間割」では自分が履修している講義の時間割を閲覧することができます。



03

【手順02】の画面で、時間割中の講義名をクリックすると、講義ごとのページを閲覧できます。

このページでは、シラバスの確認、講義で配布される資料のダウンロード、課題の提出、学内で夜間残留する際の届け出などが可能です。

04

❶「プラン」では次学期や在学中の講義履修プランを立てることができます。

学期が終了して次学期のシラバスが発表されると、次学期のプランが時間割形式で表示されるようになります。

シラバスからの検索・追加だけでなく、空き時間からの検索・追加も可能となります。

2 各種シラバスを見る

各講義・研究会についてその詳しい内容やレビューを閲覧する方法を紹介します。

1 講義シラバスを探す



『講義概要ページ』にアクセスします。

⇨ http://vu.sfc.keio.ac.jp/course2007/summary/class_list.cgi

講義内容についてSFC-SFSよりもより詳しい内容を参照できます。

2 研究会シラバスを探す



『研究会シラバス』にアクセスします。

⇨ http://vu.sfc.keio.ac.jp/course2007/seminar/

SFCで行われている研究会の詳細な情報を網羅的に参照できます。

3 keio.jp を利用する

keio.jpは慶應義塾共通認証システムの総称です。
履修申告や図書利用状況照会、休講・補講情報の確認などができます。

1 はじめに

『keio.jp』では、サービスを利用する前にIDを取得する必要があります。この作業をアクティベーションといいます。アクティベーションは『利用規定』に同意した上で『アクティベーションシステム』ページから行います。

Keio.jp	⇨ http://keio.jp
利用規定	⇨ http://keiojp.itc.keio.ac.jp/manual/rule.html
アクティベーションシステム	⇨ https://activation.keio.jp/facact/

なお、アクティベーションを行って発行されるKeio IDとパスワードは、SFC-CNSで発行されるアカウントとは異なります。

01

keio.jpのホームページにアクセスします。

⇨ http://keio.jp

❶IDとパスワードを入力します。

02

左の画面が表示されたらログイン完了です。

休講・補講に関する情報や、ライセンスの取得など、慶應義塾で管理しているデータはこちらから参照できます。

2 休講・補講に関する情報を見る

01

keio.jpにログインし、❶「学事WEBシステム」をクリックします。

02

左の画面から、学事WEBのサービスが受けられます。❶「休講・補講情報」に義塾内全ての講義情報が掲載されるのでそちらを参照してください。

3 ソフトウェアのライセンスを発行する

01

keio.jpにログインし、❶「ソフトウェアライセンス取得」をクリックします。

02

❶「ライセンス一覧」をクリックします。

利用可能ライセンス一覧から利用したいソフトウェアを探し、[利用承諾書への同意が必要]ボタンをクリックし、利用承諾書に同意すると、ライセンスキーが発行されます。

4 Global Campus を利用する

SFC Global Campus はキャンパス内の講義をグローバルに共有し、学外の学習者に役立てるためのサイトです。



01

『SFC GLOBAL CAMPUS』のホームページにアクセスし、❶左側の講義一覧から受講したい講義名をクリックします。

⇨ http://gc.sfc.keio.ac.jp/



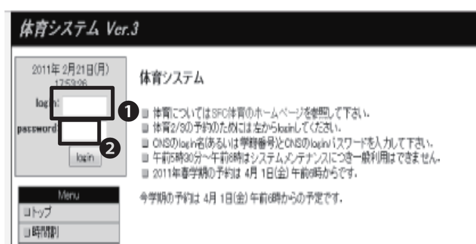
02

講義名をクリックすると、左の通り各講義のページが表示されます。

ページ下部に、回ごとの講義名があるので、受講したい回の講義名をクリックします。

5 体育システムを利用する

SFCではWEBシステムによって体育授業の予約を管理しています。このページから授業の予約や過去の出欠席をみることができます。

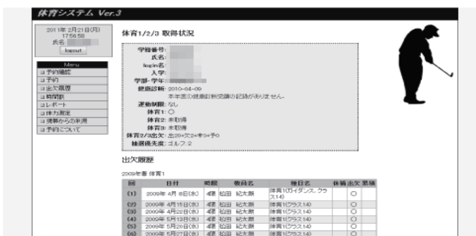


01

体育システムのページにアクセスします。

⇨ https://wellness.sfc.keio.ac.jp/v3/

❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、❷「login」をクリックします。



02

体育の履修に関する様々な情報を見ることが出来ます。

6 メディアセンターのWEBサイトを見る

メディアセンターの蔵書をインターネットで検索する事ができます。メディアセンターの閉館時間もインターネットに公開されています。

1 メディアセンター



01

慶應義塾大学湘南藤沢メディアセンターのページにアクセスします。

⇨ http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/

02

❶つぎのカレンダーから開館情報を見ることが出来ます。

2 KOSMOS



01

『KOSMOS』にアクセスします。

⇨ http://kosmos.lib.keio.ac.jp

02

中央の検索フォームに❶キーワードを入力し、❷[検索]をクリックすると慶應義塾大学全体から蔵書の検索ができます。

7 パスワード変更ページ

その他パスワードの変更を行うためのリンクを紹介します。

CNSログインパスワード

用途：

- CNSの特別教室などのPCへのログイン
- コミュニケーションサーバへのログイン
- SFC-SFS へのログイン

変更WEBサイト：

- https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/accounts/login/

CNS IMAP/SMTP-AUTHパスワード

用途：

- IMAP でのメール受信、WEBメールの利用
- メールの送信

変更WEBサイト：

- https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/accounts/mail/

IPPパスワード

用途：

- 自分のPCからCNSのプリンタへの印刷

変更WEBサイト：

- https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/accounts/ipp/

keio.jpパスワード

用途 :

- keio.jp のサービスの利用

変更WEBサイト :

- http://keio.jp/

個人ホームページDBパスワード

用途 :

- 個人ホームページからのデータベース利用

変更WEBサイト :

- https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/accounts/db/

共用作業領域DBパスワード

用途 :

- 仮想ホスト名を用いたWWW空間提供サービスからのデータベース利用

変更方法 :

- コマンドでの変更のみ

4 困ったときは(Q&A)

ネットワーク編

CNSアカウント編

4

1 無線 LAN に接続できないときの対処法

無線LANにつながらない時の主な対処法を 2 つ示します。
トラブルの際は参考にしてください。

1 無線LANのスイッチはオンになっているか

無線LANのon/offのスイッチが搭載されている機種では、スイッチがoffになっていることがあります。その場合、スイッチがonになっていることを確認してください。

また、機種によってはファンクションキーなどで無線LANのon/offを切り替えるものがあります。その場合、これがオンになっていることを確認してください。

具体的な操作方法は機種によって異なります。詳しくは、ノートPCの取扱説明書を参照してください。

2 無線LANの設定を作り直す

無線LANのスイッチがオンになっていても接続できない場合、無線LANの設定が正しくないことがあります。この場合は、無線LANの設定を作り直すことで、問題を解決できる場合があります。

3-1 無線LANの設定を作り直す (Windows)

01

新しく設定し直すために、問題の発生している可能性のある既存の無線LANの設定を削除します。 スタートメニューの中から「コントロール パネル」をクリックします。

02

コントロール パネルの「ネットワークとインターネット」の項目から、「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

03

「ネットワークと共有センター」左側のメニューから「ワイヤレス ネットワークの管理」をクリックします。

04

削除したい設定を選択し、「削除」をクリックします。「CNS」など、CNSに関係する設定を削除してください。

05

「OK」をクリックして、既存の設定の削除は完了です。続いて、【p.12自分のPCをキャンパス内でCNSにつなぐ】を参照して、無線LANの設定を新しく作り直してください。

3-2 無線LANの設定を作り直す (Mac OS X)

01

新しく設定し直すために、問題の発生している可能性のある既存の無線LANの設定を削除します。アップルメニューから「システム環境設定」をクリックします。

02

「システム環境設定」から「ネットワーク」をクリックします。「AirMac」をクリックし、「詳細」をクリックします。

03

「使ったことのあるネットワーク」から「ー」をクリックしCNSに関する設定を削除します。

04

続いて、【p.12自分のPCをキャンパス内でインターネットにつなぐ】を参照して、無線LANの設定を新しく作り直してください。

4 それでも接続できない場合

CNSコンサルタントなどのサポート窓口までご相談下さい。場所や利用可能時間などについては【p.127 CNS関係連絡先】を参照してください。

2 メールの送受信ができない

メールが送受信できない場合、様々な設定ミスが考えられます。
ここではよくあるミスを紹介します。

1 インターネットに接続できていることを確認する

メールの送受信が出来ない原因として、インターネットに接続できていない可能性があります。特に、無線LANの場合は接続されているように表示されていても、通信が成立していない場合があります。

そのため、ブラウザなどで確実に接続されていることを確認する必要があります。インターネットに接続できていない場合、【p.104　無線LANに接続できないときの対処法】をご確認ください。

2 メールアカウントの設定が正しいことを確認する

メールアカウントの設定が誤っている可能性があります。【p.32 Thunderbirdのアカウント設定】をご確認してください。

3 メールの送信ができない場合

CNSのメールアカウント設定が正しいにもかかわらずメールの送信ができない場合、インターネットサービス事業者(以下、ISP) が、迷惑メールの対策のためISP外のメール送信用ポートである25番ポートへの接続を制限するOutBound Port 25 Blocking (以下、OP25B) を実施していることがあります

4 キャンパス内からCNS外のメールサーバを用いたメールの送信ができない

CNSではISPのようにOP25Bを実施しています。利用したいサーバの管理者に代替ポートの確認をしてください。代替ポートがなければ、外部SMTPサーバ利用申請を行ってください。申請手順は【p.86利用申請が必要なサービス】を参照してください。

3 複数のメールアカウントを使い分けたい

ここでは、CNSのメールアカウントとほかのメールアカウントを使い分けるときの注意などを説明します。

1 複数のメールアカウントを使い分ける

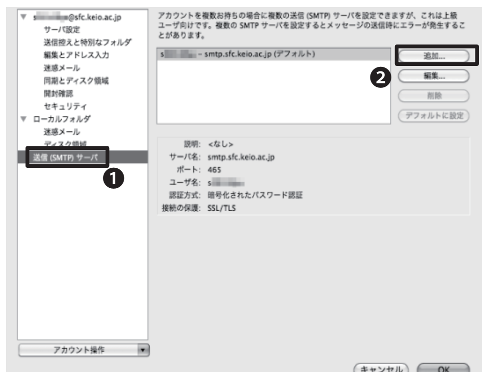
多くのメールソフトは、2つ以上の複数のメールアカウントの使い分けに対応しており、CNSのメールと、CNS以外のサービスのメールなど、複数のメールアカウントを同じメールソフト上で管理できます。

ここでは『Thunderbird』を利用したアカウントの追加方法を説明します。その他のメールソフトでの設定については、それぞれのヘルプや、『ITCのホームページ』の「技術情報」→「電子メールの利用について」→「各種メールソフト設定方法」を参照してください。

⇨ http://itc.sfc.keio.ac.jp/

01

CNS以外のサービスのメールアカウントを追加する場合、異なるのは設定情報のみです。設定手順は【p.32 Thunderbirdのアカウント設定】を参照し、設定情報はサービスの提供元に問い合わせてください。





02

送信サーバが追加されなかった場合、手動で送信サーバを追加します。「ツール」→「アカウント設定」の左の項目から❶「送信（SMTP）サーバ」を選択し、❷「追加」をクリックします。

03

例としてCNSの送信サーバを追加する場合を説明します。❶「サーバ名」に＜smtp.sfc.keio.ac.jp＞、❷「ポート番号」に＜587＞と入力します。

❸「接続の保護」から「STARTTLS」を選択し、❹「認証方式」から「暗号化されたパスワード認証」を選択し、❺「ユーザ名」にログイン名を入力してください。「説明」の内容は自分でわかりやすいように入力してください。

入力が終わったら❻「OK」をクリックします。

04

新しく追加したメールアカウントで、新しく追加した送信サーバを使用するように設定します。元のアカウント設定画面の左の項目から、❶追加したメールアカウント名をクリックします。

❷「送信（SMTP）サーバ」から、❸新しく追加した送信サーバを選択し、❹「OK」をクリックします。これで設定は完了です。

05



メイン画面の左側に、❶新しく追加したメールアカウントの受信トレイなどが表示されていることを確認します。



追加したメールアカウントの受信ボックスを開いた状態で新規メッセージを作成したときに、❷「差出人」が先ほど設定したメールアドレスになっていることを確認します。

2 複数のメールアカウントを使い分けるときの注意

CNSでは、ウイルス感染などにより、キャンパス外に対して迷惑メールを送信してしまわないようCNS以外のサーバのメール送信用ポートである25番ポートへの接続を制限しています。ISPなどの外部メールアカウントを利用する場合は代替ポートの確認をしてください。代替ポートが提供されていない場合は外部SMTP利用申請を行ってください。

キャンパス内のネットワークからCNS以外のサービスのメールアドレスを差出人としてメールを送信したい場合は、送信サーバだけCNSのサーバを利用することができます。ISPによってはCNSのSubmissionポートのように代替手段を提供している場合があるので、ISPの情報を確認してください。

Thunderbirdで複数のアカウントを作成した場合、メールの作成時に画面上部の「差出人」から、それぞれのアカウントに対応した差出人情報を選択できます。差出人情報は、メールを受け取った側からも見ることができるので、間違った差出人情報を選択しないように注意してください。

3 CNSのメールアカウントをメインで利用する

CNSのメールアカウントをメインに利用したい場合、その他のメールアカウントで、CNSのメールアドレス宛に自動で転送するよう設定してください。具体的な設定方法は、利用しているメールサービスによって異なりますので、それぞれの提供元に問い合わせてください。

4 他のサービスのメールアカウントをメインで利用する

CNS以外のメールアカウントをメインに利用したい場合は、メールサーバの設定を変更することで、任意のメールアドレスにすべてのメールを自動で転送するようにできます。

具体的な設定方法は、【p.119メールの転送設定】を参照してください。

4 自分の PC からキャンパス内プリンタで印刷できない

キャンパス内に設置されたプリンタの利用上の注意と印刷ができない場合の対処を紹介します。

1 アカウントの設定を見直す

印刷に関するトラブルの多くがアカウント設定やパスワードの誤りによるものです。

よくあるトラブルとして、パスワードを確認する際に「再発行」を選択したためパスワードが変わってしまい、これまで印刷できていたプリンタが利用できなくなってしまう場合があります。

パスワードを確認する際は必ず「現在利用中のパスワードを確認する」メニューから確認してください。

2 タッチパネルで印刷を開始したが印刷されない

印刷するファイルサイズが大きい場合、印刷まで時間がかかることがあります。特に、PhotoshopやInDesignなどのソフトから直接ファイルを印刷しようとすると、この現象がよく起こります。

確実に印刷するためには、PSD形式やINDD形式などのファイルを直接印刷するのを避け、PDF形式に変換してから印刷することをおすすめします。

5 CNS のパスワードを忘れてしまった

CNSサービスを受けるために必要なパスワードの一覧と、
パスワードを忘れてしまった時の対処方法を解説します。

CNSログインパスワード

CNSサービスを利用する際に必要なパスワードです。

忘れてしまった場合は、学生証またはキャンパスカードを持参し、湘南藤沢ITC CNS/ERNSサービス窓口までお越しください。

CNS IMAP/SMTP-AUTHパスワード

メールを送受信する際に必要なパスワードです。

忘れてしまった場合は、CNSログインパスワードを覚えていれば『IMAPパスワード申請ページ』から再発行することができます。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/mail_passwd/

CNS IPPパスワ

自分のPCからSFCのプリンタを利用する際に必要なパスワードです。

忘れてしまった場合は、CNSログインパスワードを覚えていれば『IPP利用申請ページ』から再発行できます。

⇨ https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/ipp/

keio.jpパスワード

keio.jpにログインする際に必要となるパスワードです。

忘れてしまった時は、湘南藤沢ITC CNS/ERNS窓口にて、申請書を記入して提出する必要があります。

6 キャンパス内の Mac でトラブルが起こった

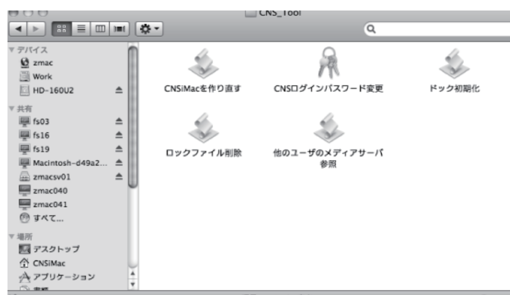
キャンパス内に設置されているMacでトラブルが発生した際に、簡単に対処するための専用ユーティリティを紹介します。

1 CNS Toolを利用するには

CNS Toolは、❶「アプリケーション」の❷「CNS_Tool」フォルダに保存されています。

目的のツールを選んで起動します。それぞれのツールの役割については、以下を参照してください。





2 CNSログインパスワードを変更する



01

CNS Toolから、CNSログインパスワードを簡単に変更することができます。

「ユーティリティ」フォルダの「CNS_Tools」フォルダを開きます。

「CNS_Tool」にある❶「CNSログインパスワード変更」をダブルクリックして起動します。

CNSログインパスワードの変更
(Changing your CNS login password)

CNSログインパスワード変更を行うページです。
You can change CNS login password at this page.

ログイン名 (Login Name)	s10000tk
現在のパスワード (Current Password)	••••••••
新しいパスワード (New Password)	•••••••
新しいパスワードの確認 (Confirm New Password)	•••••••

パスワードの強さ (Strength of password) 強(Strong)

❶ ❷ ❸

変更実行(Change) 直し(Clear)

新パスワードには以下の条件が必要です。

- 6 文字以上の長さ。(8 文字まで有効で、それ以降の文字は無視される)
- 2 文字以上の英字、および 1 文字以上の数字もしくは特殊文字を含む。
- ユーザ名と異なるもの。反転したり、ずらしたものでも不可。
- 現在のパスワードと 3 文字以上異なること。比較の際、英字の大文字・小文字は同じものとし

02

WEBブラウザが自動的に起動し、『CNSログインパスワードの変更』が表示されます。

❶「CNSログイン名」・「現在のパスワード」・「新しいパスワード」の欄に入力し、新しいパスワードを「新しいパスワードの確認」欄に再度入力します。

❷「パスワードの強さ」の欄に強度の目安が表示されます。複雑なパスワードであればあるほど強くなるので、「強(Strong)」と表示されるようなパスワードを入力してください。

すべての項目を入力したら❸「変更実行(Change)」をクリックします。

CNSログインパスワードの変更
(Changing your CNS login password)

パスワードが変更されました。
Your password successfully changed.

ITCのトップページへ | SFCオフィシャルWebサイト | 慶應義塾 湘南藤沢ITC

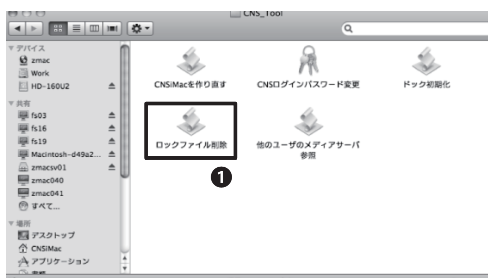
03

左の画面が表示されたら、CNSログインパスワードの変更は完了です。

③ ThunderbirdやFirefoxが起動しない問題を解決する

キャンパス内に設置されたMacで、ThunderbirdやFirefoxが「既に起動しています」と表示され起動できない時、ロックファイルを削除することで復旧できます。

以下の動作を実行する前に、ThunderbirdやFirefoxを、キャンパス内に設置された他のPCで自分のアカウントでログインして起動していないことを確認してください。



01

「CNS_Tool」にある❶「ロックファイル削除」を実行します。



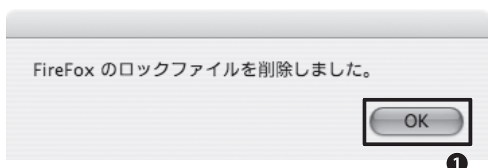
02

確認のメッセージが表示されるので、❶「OK」をクリックします。



03

起動できなくなっているアプリケーションのボタンをクリックします。両方の場合は❶「両方」をクリックします。



04

「～のロックファイルを削除しました。」と表示されるので、❶「OK」をクリックします。これで処理は完了です。起動できなかったアプリケーションが起動できることを確認してください。

4 アプリケーションの様々な問題を解決する

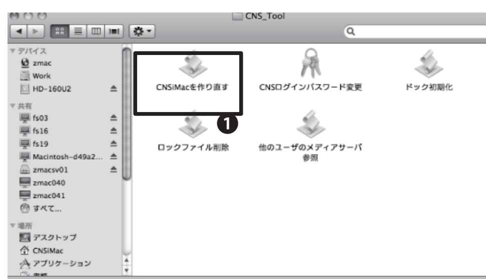
キャンパス内に設置されたMacで致命的なエラーが起こった場合、またどうしても解決できない問題が起こったときにCNSiMacを作り直す（初期化する）ことにより解決できます。

実行した場合、以下の項目を除いてすべての設定が初期化されますので、注意してください。

- 「デスクトップ」フォルダの内容
- 「書類」フォルダの内容
- 「ミュージック」フォルダの内容
- 「ピクチャ」フォルダの内容
- 『Firefox』および『Safari』のブックマーク

また、作り直す前までCNSiMac内に保存されていたファイルは、デスクトップからアクセスできる「Previous_CNSiMac」に移動されます。

過去にCNS Toolを使って復元したことがある場合、以前作成された「Previous_CNSiMac」内のファイルは復元時のものに上書きされるので注意してください。



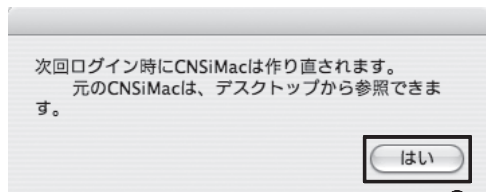
01

「CNS_Tool」にある❶「CNSiMacを作り直す」を起動します。



02

「iMacのための設定（CNSiMac）を作り直しますか？」と表示されるので、❶「作り直す」をクリックします。



03

次回ログイン時にCNSiMacは作り直されます。」と表示されたら、❶「はい」を押して終了します。

04

ログアウトし、ログインしなおすと、CNSiMacが新しく作られます。

7 CNS のメール設定を変更したい

CNSには、メールの設定を変更するために「mailsetup」コマンドが用意されています。以下ではその設定方法を紹介します。

「mailsetup」コマンドを利用することで、以下の設定を変更できます。

- メールの転送設定
- IMAP受信用/SMTP認証用パスワードを設定/変更する
- SPAMの自動振り分け設定

1 mailsetupコマンドを利用する

```
net52-dhcp:~ tarokeio$ ssh s11000tk@ccz00.sfc.keio.ac.jp
s110000tk@ccz00.sfc.keio.ac.jp's password:
Last login: Thu Feb  4 23:07:03 2011 from net52-dhcp-260.s
Sun Microsystems Inc.  SunOS 5.10   Generic January 2005
%
```

01

【p.44　自分のPCからSFCに接続する】を参照しリモートログインします。

```
net52-dhcp:~ tarokeio$ ssh s11000tk@ccz00.sfc.keio.ac.jp
s110000tk@ccz00.sfc.keio.ac.jp's password:
Last login: Thu Feb  4 23:07:03 2011 from net52-dhcp-260.s
Sun Microsystems Inc.  SunOS 5.10   Generic January 2005
%mailsetup
```

02

＜mailsetup＞と入力し、Returnキーを押します。

```
% mailsetup
----------------------------------------------------------------
------
[Mail environment setup: Language Setting]
----------------------------------------------------------------
------
Please choose language
    j: Japanese (EUC-JP)
    e: English
    q: Quit
----------------------------------------------------------------
------
If you can’t read Japanese messages described below (by “MOZI-
BAKE”),
you have to use English mode or set your terminal to EUC-JP mode.
----------------------------------------------------------------
------
利用する言語を選択して下さい。
    j: 日本語 (EUC-JP)
    e: 英語
    q: 終了
----------------------------------------------------------------
------
Please type “j”, “e” or “q” key and ENTER>
```

03

左のように表示されるので、メニューの表示言語を選択しReturnキーを押します。

以降、日本語を選んだ場合の画面で説明します。

```
----------------------------------------------------------------
------
メール環境設定を行なうため，CNSのメールサーバに ssh ログインして
います.
しばらくお待ち下さい.

次の行で，「CNSログイン用パスワード」の入力を要求される場合があり
ます.
----------------------------------------------------------------
------
Password:
```

04

パスワードの入力を求められるので、CNSログインパスワードを入力しReturnキーを押します。

```
----------------------------------------------------------------
------
[メール環境設定: メインメニュー]
----------------------------------------------------------------
------

コマンド:
1:        メール転送設定を行う
2:        IMAP受信用/SMTP認証用パスワードを設定/変更する
s:        SPAMの自動振り分け設定を行う
q:        終了

コマンドとEnterキーを入力してください>
```

05

変更が完了したら、メインメニューから各種設定を行う事ができます。

2 メールの転送設定

CNSのメールアドレス宛に届くすべてのメールを、他のメールアドレスに転送できます。ただし、転送条件などの細かい設定はできません。

```
-----------------------------------------------------------------
------
[メール転送設定]
-----------------------------------------------------------------
------

あなたの現在の転送先メールアドレス一覧は以下の通りです:
        ----------------------------------------
        s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp
        ----------------------------------------

コマンド:
1:      s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp を削除する (IMAPサーバへの転
送をやめる)
s:      メールをこのサーバ(POPスプール)にも残すよう設定する
a:      転送先メールアドレスを追加する
d:      全ての転送設定を削除する
q:      Quit - 終了 (メインメニューに戻る)

コマンドとEnterキーを入力してください>
```

01

mailsetupコマンドのメインメニューで＜1＞を入力しReturnキーを押すと、以下の画面が表示されます。＜a＞を入力し、Returnキーを押してください。

初期状態では「CNSログイン名@imap.sfc.keio.ac.jp」が登録されていますが、これを削除するとIMAPを利用したメールの受信ができなくなるので、特別な理由がない限り削除しないようにしてください。

```
-----------------------------------------------------------------
------
[メール転送設定]
-----------------------------------------------------------------
------

あなたの現在の転送先メールアドレス一覧は以下の通りです:
        ----------------------------------------
        s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp
        ----------------------------------------

コマンド:
1:      s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp を削除する (IMAPサーバへの転
送をやめる)
s:      メールをこのサーバ(POPスプール)にも残すよう設定する
a:      転送先メールアドレスを追加する
d:      全ての転送設定を削除する
q:      Quit - 終了 (メインメニューに戻る)

コマンドとEnterキーを入力してください>
転送先メールアドレスを入力して下さい:
```

02

「転送先メールアドレスを入力してください」と表示されるので入力します。

```
-----------------------------------------------------------------
------
[メール転送設定]
-----------------------------------------------------------------
------

あなたの現在の転送先メールアドレス一覧は以下の通りです:
        ----------------------------------------
        s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp
        ----------------------------------------

コマンド:
1:      s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp を削除する (IMAPサーバへの転
送をやめる)
s:      メールをこのサーバ(POPスプール)にも残すよう設定する
a:      転送先メールアドレスを追加する
d:      全ての転送設定を削除する
q:      Quit - 終了 (メインメニューに戻る)

コマンドとEnterキーを入力してください>
転送先メールアドレスを入力して下さい:
hogehoge@hoge.com: このアドレスでよろしいですか? (Y/N):
```

03

「このアドレスでよろしいですか」と表示されるので＜Y＞を入力しReturnキーを押してください。

```
-------------------------------------------------------------------
[メール転送設定]
-------------------------------------------------------------------

あなたの現在の転送先メールアドレス一覧は以下の通りです:
        ----------------------------------------
        s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp
        hogehoge@hoge.com
        ----------------------------------------

コマンド:
1:      s11000tk@imap.sfc.keio.ac.jp を削除する (IMAPサーバへの転
送をやめる)
2:      hogehoge@hoge.comを削除する
s:      メールをこのサーバ(POPスプール)にも残すよう設定する
a:      転送先メールアドレスを追加する
d:      全ての転送設定を削除する
q:      Quit - 終了 (メインメニューに戻る)

コマンドとEnterキーを入力してください>
```

04

メールアドレスが追加されたことを確認します。

3 CNS IMAP/SMTP-AUTHパスワードを設定/変更する

ここでは、CNS IMAP/SMTP-AUTHのパスワードを変更できます。このパスワードは「mailsetup」コマンドではなく、専用のWebサイト（https://itcsecure.sfc.keio.ac.jp/accounts/mail/）からも変更できます。（【p.27メールの設定をする】）

```
s11000tk のCNSログインパスワードを入力:
```

01

「mailsetup」コマンドのメインメニューで＜2＞を入力しReturnキーを押すと、左のような画面が表示されます。CNSログインパスワードを入力します。

```
新しいIMAP/SMTP-AUTHパスワードを入力:
```

02

新しいIMAP/SMTP-AUTHパスワードを入力と表示されるので入力します。

```
確認のため、もう一度新しいパスワードを入力:
```

03

確認のため、もう一度パスワードを入力します。

```
IMAP/SMTP-AUTHパスワードの変更に成功しました @ns0.
sfc.keio.ac.jp
Enterキーを入力してください.
```

04

左の画面が表示されたら完了です。

4 迷惑メールの自動振り分け設定

この設定を行うことで、メールサーバの機能によって迷惑メールやウィルスと判定されたメールが、自動的に「SPAM」フォルダに移動されるようになります。この機能は通常は無効になっていますが、これを有効にすることで、メールソフトで特別な設定をしなくても、迷惑メールやウィルスを振り分けられます。

```
-----------------------------------------------------------------
------
[SPAMフィルタ設定]
-----------------------------------------------------------------
------

SPAM対策機器によりSPAMと判定されたメールを「SPAM」というフォルダに
振り分けるための procmail の設定を行います。

SPAMの判定は機械的に行なわれますので次のような状況が起こりえます。

 1. SPAMではないメールにSPAM印がついている(誤検知)
 2. SPAMメールにSPAM印がついていない(検知漏れ)

フィルタ設定後は容量制限超過によるメール不達トラブルを避けるため、
SPAMフォルダ内のメールの削除およびprocmailのログ(~/procmaillog)の
確認を定期的に実施してください。

コマンド:
a:      SPAMフィルタを設定する
d:      SPAMフィルタの設定を削除する
q:      終了 (メインメニューに戻る)

コマンドとEnterキーを入力してください>
```

01

「mailsetup」コマンドのメインメニューで＜s＞を入力しReturnキーを押すと、以下の画面が表示されます。＜a＞を入力し、Returnキーを押してください。

```
SPAMフィルタ(~/.procmailrc)を設定しますか? (Y/N):
```

02

「SPAMフィルタ(~/.procmailrc)を設定しますか？ (Y/N): 」と表示されるので＜Y＞キーを入力します。

```
Enter キーを入力して下さい. :
```

03

「Enter キーを入力して下さい. : 」と表示されるのでReturnキーを入力します。

8 キャンパス内限定コンテンツを見たい

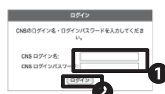
一部のWEBページは閲覧をキャンパス内からに限っています。これらのWEBサイトにキャンパス外からアクセスする方法を紹介します。

VPNによる接続

キャンパス外ネットワークからのキャンパス内限定コンテンツにアクセスするには「Virtual Private Network」（仮想プライベートネットワーク(VPN)）という技術を利用する必要があります。

CNSではWEB上でVPNサービスを提供しています。以下でその手順を紹介します。

SFC-ITC SSL VPN Service



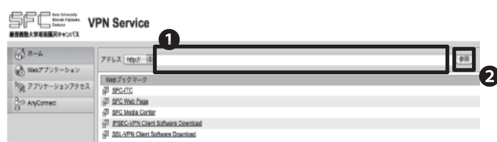
01

WEBブラウザで、『WebVPN Service』にアクセスします。

⇨ https://vpn1.sfc.keio.ac.jp/

❶CNSログイン名とCNSログインパスワードを入力し、❷「ログイン」をクリックします。

正しくログインできると、「WebVPN」が利用できるようになります。



02

閲覧したいWEBページのURLを❶「アドレス」入力し、❷「参照」をクリックします。

Tips

残留とは

SFCでは特別教室や研究室で作業をしながら一夜を明かすことを「残留」と呼びます。

あまり推奨される行為ではありませんが、SFCでは残留している人をよく見かけます。

Tips

オンライン残留届

残留届けを出す際には、残留理由の登録が必須です。登録は以下のように行います。

1. SFC-SFSから履修している講義名をクリックします。
2. ページ上部の［オンライン残留届］ボタンをクリックします。
3. 残留理由を登録し、終了します。

5 付録

5

1 SFC-CNS 利用内規

SFC-CNSのサービスを使用するにあたって、
利用者が守らなければならない内規を掲載します。

CNS/ERNS利用者各位

湘南藤沢キャンパス

湘南藤沢キャンパスーキャンパスネットワークシステム利用内規

以下のとおり、湘南藤沢キャンパスーキャンパスネットワークシステム（以下 SFC-CNSという）の利用内規を定める。

- SFC-CNS利用者は、SFC-CNSが学術用ネットワークであることを承知しているものとする。
- 教育・研究目的に該当しない以下のような行為には、SFC-CNSアカウントの利用承認の取り消し、または一定期間SFC-CNSの利用を停止する場合がある。アカウントの利用承認取り消しや利用停止によって、履修単位を取得できないなどの不利益を被ることがあるので、注意すること。
    - 営利目的での利用
    - 公序良俗に反する行為
    - 他人のプライバシーを侵す行為
    - ネットワークの正常な運用を妨害する行為
    - 著作権などの知的所有権を侵害する行為
    - 慶應義塾大学の品位を落とすような行為
    - その他、法令、学内規定に違反する行為
- ネットワークの正常な運用を妨げる機器が発見された場合、SFC-CNSとの接続を遮断する場合がある。
- この内規は、不定期に見直されることがある。その場合は、現在の内規に上書きして運用される。

湘南藤沢キャンパスは、以上を承知した者にSFC-CNSのアカウントを発行する。

以上

制定：2003年（平成15年）9月3日
施行：2003年（平成15年）9月3日

2 CNS 関係連絡先

CNSサービスに関連する、各組織の連絡先一覧です。
なにか困ったことやトラブルがあった際は気軽にお尋ねください。

ITC

- 場所　メディアセンター 1F 北側（CNS/ERNSサービス窓口）
- 電子メール　cns-request@sfc.keio.ac.jp
- WEBサイト　http://itc.sfc.keio.ac.jp/
- 外線　0466（49）3423
- 窓口受付時間　9:15～17:00（土・日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業）

CNSコンサルタント

- 場所　メディアセンター 1F CNSコンサルタントブース
- 電子メール　cns-consultant@sfc.keio.ac.jp
- WEBサイト　http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/
- 外線　0466（49）3425
- 窓口受付時間　9:20～22:30（土・日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業）

AVコンサルタント

- 場所　メディアセンター 1F AVカウンター
- 電子メール　av-staff@sfc.keio.ac.jp
- WEBサイト　http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/general/avcir.html
  http://avcon.sfc.keio.ac.jp/portal/
- 窓口受付時間　通常開館日　9:15～22:30（土～18:30）
  短縮開館日　9:15～17:30（土～15:30/土曜日の11:30~12:30は昼休み）
  （日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業）

データベースコンサルタント

- 場所　メディアセンター 2F データベース検索コーナー
- 電子メール　dbconsultant@sfc.keio.ac.jp
- WEBサイト　http://dbcon.sfc.keio.ac.jp/
- 窓口受付時間　15:00～21:00（土・日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業）

NMC Factotum

- 場所　看護医療学部 図書室内 マルチメディア相談カウンター
- 電子メール　factotum-support@sfc.keio.ac.jp
- WEBサイト　http://nmcfact.sfc.keio.ac.jp/

3 SFC-CNS ガイドの版権・著作権について

SFC-CNSガイドは再利用を広く認めています。
その具体的な範囲について、まとめています。

1 方針

SFC-CNSの環境は、多くのフリーソフトウェア、フリードキュメント、パブリックドメインソフトウェアの恩恵を受けています。

この恩恵に少しでも応えるため、SFC-CNSガイドは次のような方針に基づき、その再利用を広く認め、社会に貢献していきます。

- 下記の再配布規定の基づく、複写、翻訳、改変、修正、引用を許諾します
- 下記の再配布規定に基づく、印刷、配布、販売を許諾します
- 希望者には、電子媒体で原稿を配布します（cns-guide-req@sfc.keio.ac.jpへの電子メールで受け付けます）

2 再配布の規定

再配布を行う際は、次の2点を厳守してください。

- 出典の明記
- 本書の原稿が無料で公開されていることの明記

本書の内容について、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス外からの問い合わせには基本的に対応しません。

また、本書の補足訂正情報の、キャンパス外への積極的な公開は行っていません。

4 キャンパス内の設備一覧

キャンパス内の各所に設置されているCNSのPCについて、
利用可能な時間や、その設置目的、機器の詳細をまとめます。

1 メディアセンター

平日は9:15〜23:00、土曜日は9:15〜19:00に開館しています。日曜および祝祭日は休館です。長期休業などにより開館日・開館時間が変更になる場合は、メディアセンターのWEBサイトに掲載されます。

⇨ http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/

メディアセンターには次の表の通り、PCとプリンタが設置されています。また多数のAV機器が設置されており、VHSのダビングやDVDの編集も可能です。

場所	用途	OS・機器	台数	名前
オープンエリア	一時利用	DELL Vostrro 200(Windows 7)	5	mcsupc01-05
	スキャン専用	DELL Vostrro 200(Windows 7)	4	mcvspc01-04
	映像編集用	Mac Pro(Mac OS X 10.6)	13	mchdmac01-13
	音楽製作用	iMac(Mac OS X 10.6)	2	mcdamac01-02
	一般利用	DELL PRECISION 490(Windows 7)	2	mcixp001-002
		iMac(Mac OS X 10.6)	4	mczmac01-04
	カラー印刷	カラープリンタ	2	colorprn
	モノクロ印刷	モノクロプリンタ	2	monoprn
クリエイティブルーム	映像編集用	Mac Pro(Mac OS X 10.6)	11	crhdmac01-11
	音楽製作用	Mac Pro(Mac OS X 10.6)	5	mcdamac03-07

（2011年 3月 現在）

2 特別教室

講義で利用している時間を除き、原則的に24時間利用が可能です。ただし、夏季一斉休業中と年末年始の指定された期間はすべての特別教室が利用できなくなります。

特別教室への入室には学生証が必要です。学生証を所持していない場合、施設を利用できません。

また、午後11時から翌日の午前8時の間に利用する場合は、事前にWEBで「オンライン残留届」を提出しなければなりません。

場所	用途	OS・機器	台数	名前
κ18	作業用	iMac (Mac OS X 10.6)	40	zmac000-039
		モノクロプリンタ	1	monoprn
ε17		iMac (Mac OS X 10.6)	40	zmac040-079
		モノクロプリンタ	1	monoprn
ι18		iMac (Mac OS X 10.6)	40	zmac080-119
		モノクロプリンタ	1	monoprn
ο17		iMac (Mac OS X 10.6)	40	zmac120-159
		モノクロプリンタ	1	monoprn
λ11	2D CG 3D CG CAD	HP Z400 Workstation(Windows 7)	41	ws00-44
		モノクロプリンタ	1	monoprn
		カラープリンタ	1	colorprn
λ18	動画編集	iMac (Mac OS X 10.6)	40	ispc000-039
		モノクロプリンタ	1	monoprn
λ21	音楽製作	iMac(Mac OS X 10.6)	40	damac00-39
		カラープリンタ	1	colorprn

5 著作物の取扱いについて

このセクションでは、著作物を取り扱う際に注意したいことを解説します。

1 著作物を適切に取り扱うこと

ファイル共有ソフトウェアなどを利用しての楽曲・映像の無断公開や、アプリケーションを不正にコピーすることは、それらの作者が持つ知的財産権を侵害することになります。侵害した場合、SFC-CNS利用内規に基づきCNSアカウントが停止され、CNSにコンピュータを接続できなくなります。また、学則に基づいた処分も行われます。

2 ファイル交換ソフトウェア利用上の注意

現在P2Pファイル交換ソフトウェア(Winny, Share, LimeWire, Cabos)を通じた、音楽・映像・ソフトウェアの不正な交換が社会問題となっています。これらのソフトウェアには、ダウンロードしたファイルを二アップロードする機能を持つものもあり、その場合は違法行為となる可能性があります。また、違法著作物を含むファイルにはウィルス感染しているものも多く出回っています。2010年1月1日施行の改正著作法により、著作権侵害の疑いのあるファイルをダウンロードする事に関しても一定の条件に合致すると違法になりました。慶應義塾ITC本部は『P2Pファイル交換ソフトウェアの利用について』という規則を、全塾のネットワークに適用しています。

⇨ http://www.hq.itc.keio.ac.jp/P2P/

ファイル交換ソフトウェアの利用は、教育・研究目的に限って許可されます。しかし、事前にITCへ利用申請書を提出する必要があります。利用申請が必要なP2Pファイル交換ソフトウェアは『ITC本部の発表するリスト』を参照してください。
⇨ http://www.hq.itc.keio.ac.jp/P2P/list.html

3 著作物の取り扱い

著作物とは、思想または感情を創作的に表現したものです。例えば文章・音楽・絵画・プログラムなどが該当します。CDやパッケージソフトウェアといった形で流通しているものだけが著作物ではありません。WEBページ上のコンテンツや授業のレポートなども著作物であり、誰かが著作権をもっています。形のないものを守る権利は、著作権だけではなく肖像権・工業所有権などもありますが、ここでは主に著作権について説明します。

4-1 著作権の侵害

著作権とは「著作権者の許可しないところで著作物が勝手に使用・改変・複製されないよう著作物を守る権利」です。レポートやWEBページの作成の際に援用・利用したりする資料は、すべて誰かが著作権を持っていることに注意します。次に挙げる例は、著作者の許可がある場合を除き、著作権を侵害しています。

- 書籍の•WEBページの一部を自分で作成したかのようにレポートに使用する
- 音楽および映像ファイルをアップロードする
- 友達が購入したソフトウェアを自分のコンピュータにインストールする
- テレビや実演の録画を無断でWEBページに掲載する

4-2 正しく引用する

他者の著作物は、引用という形をとれば許可を取らずに利用できます。引用とは、報道・批評・研究などの目的で他者の著作物を部分的に転載することです。例えば、レポート中で他の文献を部分的に参照する場合などがこれにあたります。引用の際は次の条件を満たす必要があります。

- 出所と著作者名を明記すること
- 本文と引用部分が明らかに区別できること
- 著作物を引用する必然性があること
- 引用の範囲に必然性があること
- 質的量的に、引用する部分が従であり、引用先が主であること
- 引用元が公表された著作物であること

4-3 著作権法上の権利の目的とならない著作物を利用する

国や地方自治体、独立行政法人の発行した告示や訓令、通達などは著作権法の対象とされていません。
そのため著作者は存在しますが、許可を得なくても利用できます。

4-4 オープンコンテントを利用する

インターネットで流通している著作物の中には、著作者が著作物を共有した状態に置いているものがあります。このような著作物は「オープンコンテント」と呼ばれ、一般的な著作物より自由に利用できます。

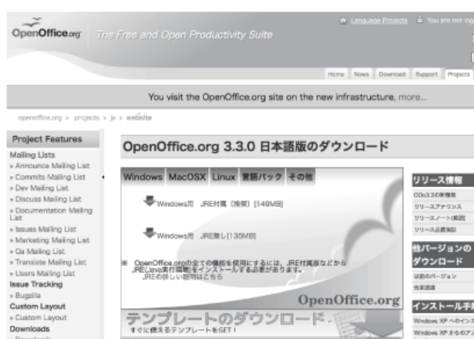
著作物が広く自由に利用されることを許す著作者が、数多くのオープンコンテントを公開しています。これらの中には次に示すような共通利用規約のもとに配布されているものもあります。利用の際は利用規約をよく読み、有効に活用しましょう。

利用規約の名前	アドレス
クリエイティブ・コモンズ・ライセンス	http://www.creativecommons.jp/
GNU一般公衆利用許諾契約書	http://www.opensource.jp/gpl/gpl.ja.html.euc-jp
GNUフリー文書利用許諾契約書	http://www.opensource.jp/fdl/fdl.ja.html

6 フリーソフトについて

このセクションでは、ウェブ上で無料配布されているSFC生活に役立つソフトを紹介します。

1 OpenOffice.orgを使う

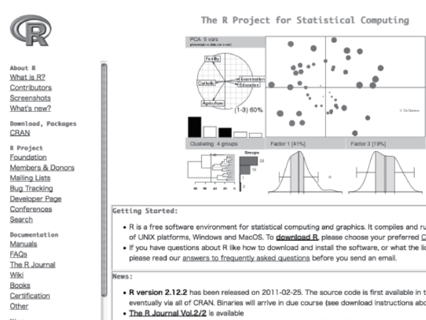


以下のWEBサイトからOpenOffice.orgをダウンロードすることができます。

⇨ http://ja.openoffice.org/download/

OpenOffice.orgはレポート、PDFを作成することができるフリーソフトです。

2 Rを使う



以下のWEBサイトからRをダウンロードすることができます。

⇨ http://www.r-project.org/

Rはフリーの統計ソフトです。

SFC CNS ガイド2011

発行日	2011年４月１日
編集	SFC CNSガイド編集委員
	〒 252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322
	0466 (49) 3424
	cns-guide-req@sfc.keio.ac.jp
印刷	大日本印刷株式会社